

## 中世琉球における貿易陶磁調査 I

A Survey of Trade Ceramics in Ryukyu in the Medieval Period I  
IKEYA Hatsue, ONO Masatoshi, IWAMOTO Yasunari, KOIDE Mayumi,  
SASAKI Kensaku and MURAKI Jiro

池谷初恵・小野正敏・岩元康成・小出麻友美・佐々木健策・村木二郎

### 1. 陶磁器調査の目的、経過と方法

#### (1) 陶磁器調査の目的

国立歴史民俗博物館では、日本列島における中世併行期の琉球を先島諸島（宮古・八重山諸島）や奄美諸島といった周辺域からみることで新たな歴史像を模索しようと、2015年度から2017年度にかけて、共同研究（基盤研究）「中世東アジア海域における琉球の動態に関する総合的研究」を実施した。また、2014年度から2017年度にかけての4年間は、科学研究費助成事業（基盤研究（B））「琉球帝国と東アジア海域の動態研究—集落・流通・技術—」（研究代表者：村木二郎）も行っており、現地調査にあたっては科研費による成果が大きな比重を占めている。

この研究課題は、文献資料の少ない先島や奄美の集落を考古学的に調査することで、従来の解釈に修正を迫ることを意図した。そのため、遺跡面では先島に残る石積みをもった集落遺跡を丹念に踏査することとし、遺物面では集落遺跡から出土した陶磁器を分類・カウントすることで、基礎資料の充実を図ることが第一と判断した。

調査対象とした地域は沖縄本島に比べ発掘調査された遺跡が少なく、陶磁器の出土状況の実態や遺跡の時期を捉えにくい現状がある。そこで、本調査では遺跡ごとに出土した貿易陶磁の全てを下記の方法で数値化した<sup>(1)</sup>。対象とした遺跡は、鹿児島県喜界島2遺跡、沖縄県宮古島2遺跡、石垣島1遺跡、竹富島1遺跡である。その他、発掘調査資料ではないが、八重山諸島の採集資料の調査も行った。

この調査成果から、遺跡の存続時期が明らかとなり、量的な分析により遺跡のピークも想定できる。また、貿易陶磁の組成や特定器種の出現や盛行時期から、遺跡（ムラ）の特徴を導き出すことも可能となる。

最終的には、個々の遺跡の貿易陶磁から看取される特徴に、地理的・歴史的環境、遺構・遺跡のデータを付加することにより、中世琉球の貿易陶磁の流通状況や歴史的な特質を明らかにするための基礎データとすることをめざしている。

## (2) 陶磁器調査の経過

調査は、現地での巡見や測量調査、研究会などと併行して実施したため、長期滞在期間中の数日を陶磁器調査に充てることが多かった。実質的に調査を実施したのは下記の通りである。

- 第1次 2015年7月11日 竹富島新里村遺跡出土陶磁器調査（沖縄県立埋蔵文化財センター）
- 第2次 2015年10月22～24日、26～27日 宮古島住屋遺跡出土陶磁器（宮古島市教育委員会）
- 第3次 2016年3月7日 石垣島フルスト原遺跡出土陶磁器（石垣市教育委員会）
- 第4次 2016年5月20～23日 宮古島住屋遺跡・ミヌズマ遺跡出土陶磁器（宮古島市教育委員会）
- 第5次 2016年10月23～24日 喜界島大ウフ・中増遺跡出土陶磁器（喜界町教育委員会）
- 第6次 2017年3月9～10、13日 石垣島フルスト原出土陶磁器（石垣市教育委員会）
- 第7次 2017年6月25日 喜界島中増遺跡出土陶磁器（喜界町教育委員会）
- 第8次 2017年8月20～22日 ジョージ・H・カー氏採集資料（沖縄県立博物館・美術館（20、22日））、竹富島新里村遺跡、沖縄県教育委員会ぐすく分布調査資料、生産遺跡分布調査資料（沖縄県立埋蔵文化財センター（21日））
- 第9次 2017年12月14～15日 ジョージ・H・カー氏採集資料（沖縄県立博物館・美術館）
- 第10次 2018年3月12日 石垣島フルスト原遺跡出土陶磁器（石垣市教育委員会）

また現地調査のほか、国立歴史民俗博物館等で研究会を開催しており、これらの陶磁器調査に関連した研究報告を行っている。

2016年度第2回共同研究会（2016年10月22日）鹿児島県喜界町中央公民館

村木二郎「中世における琉球と喜界島」

2017年度第1回共同研究会（2017年4月22・23日）国立歴史民俗博物館

池谷初恵・岩元康成・小野正敏・小出麻友美・佐々木健策・村木二郎「陶磁器調査の成果」

池谷初恵「琉球列島、北と南の陶磁器様相」

村木二郎「琉球帝国を語る要件」

2017年度第2回共同研究会（2017年12月16日）沖縄県青年会館

池谷初恵「琉球列島、北と南の陶磁器様相—八重山諸島を中心に—」

岩元康成「琉球列島、北と南の陶磁器様相—奄美大島・喜界島の中世遺跡・城郭遺跡を中心に—」

村木二郎「琉球帝国とは—周辺からみた琉球—」

## (3) 陶磁器調査の体制

陶磁器調査は、資料所蔵機関の協力を得て、村木二郎（国立歴史民俗博物館、第1～10次）、池谷初恵（伊豆の国市教育委員会、第1～10次）、岩元康成（始良市教育委員会、第5、7次）、小野正敏（国立歴史民俗博物館名誉教授、第1～4、6～10次）、久貝弥嗣（宮古島市教育委員会、第2、4次）、小出麻友美（千葉県立中央博物館、第1～5、7、9～10次）、佐々木健策（神奈川県小

田原市小田原城総合管理事務所，第1～10次），鈴木康之（県立広島大学，第7次）が参加した。

調査にあたっては，石垣市教育委員会の大瀨永寛氏・金城由美氏・下地傑氏，沖縄県立博物館・美術館の山本正昭氏，沖縄県立埋蔵文化財センターの新垣力氏・金城亀信氏，喜界町教育委員会の野崎拓司氏・松原信之氏にご協力いただいた。記して御礼申し上げます。

#### (4) 陶磁器調査の方法

調査の方法は，遺跡ごと（遺構ごと）に，出土したすべての貿易陶磁を器種・分類別に分け破片数を集計する。具体的には，①遺跡（遺構）の大小にかかわらず，②同じ分類基準で，③同じ目で実物にあたり，④すべての破片数を数える〔小野 2005〕，という，統一した調査過程を経て，別表（表6～13）のデータを作成した。小破片で分類を特定できないものは，該当する複数の分類名（表では or で示した）や，相当する時期幅を記した。また，詳細分類のない皿，盤等は，「～相当」や「～c.（世紀）」を付記し，時期の特定ができるようにした。

## 2. 貿易陶磁分類基準

### (1) 基礎となる分類基準

日本出土の貿易陶磁の分類・年代の位置づけは，出土数の多い大宰府を中心に行われ，1978年の横田賢次郎・森田勉の論文「大宰府出土の輸入中国陶磁器について」により，はじめて9～14世紀中葉の白磁・青磁の型式分類と編年が提示された〔横田・森田 1978〕。続いて1982年刊行の『貿易陶磁研究』No.2に，森田「14～16世紀の白磁の型式分類と編年」〔森田 1982〕，上田秀夫「14～16世紀の青磁碗の分類について」〔上田 1982〕，小野正敏「15～16世紀の染付碗，皿の分類と年代」〔小野 1982〕の各論考が掲載され，それぞれの分類と編年案が提示された。さらに，小野は15・16世紀の白磁・青磁・染付の組み合わせによる画期と年代を提示した〔小野 1985〕。

1980年代までの貿易陶磁の分類・編年は，それぞれの種別や時期を限定したものであったが，国立歴史民俗博物館の編集による『日本出土の貿易陶磁』の集成において，中世全体を通じての貿易陶磁分類案が示された〔国立歴史民俗博物館編 1993・1994〕。また，これを受けて静岡県菊川市の史跡総合調査報告書で同様の分類・編年案が提示され，静岡県内の中世陶磁器悉皆調査のデータが集積された〔菊川町教育委員会 1999・2000，菊川シンポジウム実行委員会 2005〕。

北九州においては，山本信夫による大宰府編年の再編成が行われ，分類の改訂とともに，各器種の組合せにより9～14世紀をA期～G期の7期にわたる時期区分がなされ，沖縄県を含め西日本各地における汎用の時期区分となっている〔山本 2000・2007〕。

いっぽう，沖縄では本州島であまり出土しない器種がいくつか知られている。代表的なものが白磁碗の今帰仁タイプやビロースクタイプで，これらは金武正紀により1980～1990年代にかけて分類・編年が行われ，沖縄を中心とする特徴的な器種として位置づけられた〔金武 1988，金武他 1991〕。また，宮城弘樹と田中克子が，中国福建省の窯跡出土製品との比較により，今帰仁タイプ，ビロースクタイプの分類の再考，年代的な位置づけ・流通状況などを検討している〔宮城 2009，田中 2009a・2009b〕。

また，沖縄本島における中世全般にわたる貿易陶磁の編年では，金武による12～13世紀の陶磁器編年を嚆矢とし〔金武 1989〕，名称・年代・産地などが整理された〔金武 1990・1997〕。2000年代

になると瀬戸哲也・宮城・新垣力等により、主に14～16世紀の陶磁器の再整理、分類、編年が活発に行われた〔新垣・瀬戸2005、瀬戸他2008〕。とくに青磁碗・皿については、山本による大宰府編年の中で「高台が多様化しており資料も少なさもあり未完成」〔山本2000〕とされた龍泉窯系Ⅳ類を引き継ぐ形で、Ⅴ～Ⅶ類を設定した〔瀬戸他2008、瀬戸2010・2015〕。

## (2) 本調査の分類案

以上の分類・編年案を参考に、主に国立歴史民俗博物館分類・菊川市分類に、沖縄地域特有の分類を追加・細分して、琉球バージョンを作成した。【貿易陶磁分類（案）表1～表5、貿易陶磁分類参考図 図5～8】

先島諸島では、これまで型式設定された今帰仁タイプの範疇には入らないが、高台や口縁部の特徴などから中国浦口窯出土の白磁粗製碗・皿として宮城が紹介した資料が多く見られる。破片資料では金武の設定した今帰仁タイプとの判別がむずかしい資料も多いため、宮城・田中の窯出土資料の調査成果を受けて、従来の今帰仁タイプも含め、これらを「浦口窯系」としてまとめた。白磁碗ビロースクタイプは田中の「先行タイプ」を「ビロースク0」と仮称し、従来のⅠ～Ⅲ類に加え4細分とした。

これまで分類にないものとして、宮古島住屋遺跡等で出土した粗製の白磁碗を「住屋Ⅹタイプ」・「住屋Ⅺタイプ」として追加した<sup>(3)</sup>。また、八重山地方では、粗製の青磁碗・皿が多く認められるため、それぞれの分類中で「粗製」として数を示した<sup>(4)</sup>。

なお、今回の調査では、先述した金武や瀬戸他による沖縄編年の分類名は採用しなかった。その理由として、調査の目的は琉球列島における貿易陶磁の具体的な出土状況を提示するとともに、本州島を含む広い地域間で比較検討できるデータを作成することであり、汎日本的な検討を意図していることがある。また、沖縄編年では詳細な分析により白磁・青磁の碗・皿が細かく分類・編年されているが、全点分析を行う今回の調査においては、沖縄編年基準では小破片の分類がむずかしいこともある。そのため、下記に示した時期区分も、14～15世紀を1～7期に区分した瀬戸の時期区分に比べ、年代幅が広がっている。

## 3. 時期区分

今回の調査データを上記の分類基準に基づき、Ⅰ～Ⅶ期の6期、小期を含めて7段階の時期区分を行った。時期区分ごとの数値は、表14～16に示した。各時期の年代観は、指標とする分類・編年の年代に基づいているが、日本国内各地の消費地遺跡の出土状況を考慮し、若干の変更を加えている。今回の調査で提示する時期区分と年代、指標とする主な分類は以下の通りである。

期	年代	指標とする主な分類
Ⅰ期	11世紀後半～12世紀中頃	青磁碗 A0 白磁碗Ⅱ・Ⅳ 白磁皿Ⅱ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ
Ⅱ期	12世紀後半～13世紀前半	青磁碗 A1～6 青磁同安窯系 白磁碗Ⅴ～Ⅷ 白磁皿Ⅲ
Ⅲ期	13世紀後半～14世紀前半	青磁碗 B1・B0 青磁折縁皿 白磁碗ⅢⅨ 白磁碗Ⅲ浦口窯系 白磁碗ビロースク0・Ⅰ・Ⅱ
Ⅳa期	14世紀後半～15世紀初め	青磁碗 B2・C1・D1 白磁碗枢府系 白磁碗ビロースクⅢ
Ⅳb期	15世紀前半～中葉	青磁碗 B3・C2・D2 青磁内彎系皿 白磁皿B 染付碗B

V期	15世紀後半～16世紀前半	青磁碗 B4・C3・E1	青磁端反皿	青磁稜花皿	白磁碗 C
		白磁皿 C1・C2・E	染付碗 C・D	染付皿 B1・C	
VI期	16世紀中葉～末	青磁碗 E2	青磁菊皿	白磁皿 D	染付碗 E・F
				染付皿 B2・E・F	

## 4. 調査遺跡の概要

### (1) 鹿児島県大島郡喜界町（喜界島）

**大ウフ遺跡** [喜界町教育委員会 2013, 2015a]

大ウフ遺跡は喜界島の古代～中世の大集落である城久遺跡群の1つである。城久遺跡群は喜界島の海岸段丘（標高90～160m）の縁辺部に立地する8遺跡で構成される。大ウフ遺跡は城久遺跡群の中でも最も標高の低い位置にあり、他の遺跡が12世紀代に衰退に向かうのに対し、15世紀まで継続する特徴をもつ。掘立柱建物跡85棟、土坑墓8基、溝状遺構26基などが検出され、11世紀後半～12世紀代の製鉄・鍛冶遺構20基も特筆される。

今回調査した貿易陶磁は、越州窯製品や陶器壺・甕類、朝鮮半島産陶磁器を除く783点で、IVa期の遺物が最も多い。

**中増遺跡** [喜界町教育委員会 2015b]

中増遺跡は喜界島南西部の標高約20mの段丘上に立地する集落遺跡である。遺跡の位置する手久津久地区は中世遺跡の集中する地域で、他に3遺跡の発掘調査が行われている。中増遺跡では掘立柱建物跡15棟、土坑9基、溝状遺構2基などが検出されているが、中世後半の遺構・遺物が中心であり、城久遺跡群とは異なる様相を呈している。

今回調査した貿易陶磁は、陶器壺・甕類、朝鮮半島産陶磁器を除く190点で、IVb期の遺物が最も多い。

### (2) 沖縄県宮古島市（宮古島）

**住屋遺跡** [平良市教育委員会 1999]

住屋遺跡は宮古島の平良地区に位置する14～17世紀の集落遺跡である。1982年に発掘調査が行われ、平地式住居・石敷住居・円形建物跡・竪穴炉跡などが検出された。17世紀はじめ（1629年）には、琉球王府の在番仮屋が設けられ、明治以降も宮古島役所が置かれ、現在も宮古島市役所も建つなど、島の行政の中心地であった。

調査した貿易陶磁は、陶器壺・甕類、朝鮮半島産陶磁器を除く10,542点で、IVb～V期の遺物が多い。

**ミヌズマ遺跡** [久貝 2015]

ミヌズマ遺跡は宮古島の平良地区、与那覇湾に面した小丘陵上に位置する。2012～2014年に約3,000㎡の大規模な発掘調査が行われた。<sup>(5)</sup>掘立柱建物跡が33棟検出され、概ね11世紀から15世紀前半の集落遺跡ととらえられている。



写真1 大ウフ遺跡全景



写真2 住屋遺跡現況  
(左の庁舎の場所が調査地)

調査した貿易陶磁は陶器壺・甕類、朝鮮半島産陶磁器を除く1,317点で、IVa期の遺物が最も多く、その後の遺物量は急激に減少する。

### (3) 沖縄県石垣市（石垣島）

フルスト原遺跡 [石垣市教育委員会 1984]

フルスト原遺跡は石垣島の南部、大浜集落の北に位置し、琉球石灰岩の形成する標高約20mの台地上に立地している。屋敷囲いとされる「石塁」が15基検出され、そのうち7基の発掘調査が行われた。石塁内部で柱穴や炉跡が確認されているいっぽうで、急峻な崖上に位置し、連結する「石塁」で囲まれていることから、防御性を意識した集落跡という位置づけがなされている。

当遺跡の貿易陶磁の調査は、「石塁」ごとに分けて分類・計数した。総計は、陶器壺・甕類、朝鮮半島産陶磁器を除く8,896点である。<sup>(7)</sup> IVa期～V期にかけての遺物が多いが、石塁によりピークの時期がIVa期とV期との2タイプがみられた。

### (4) 沖縄県竹富町（竹富島）

新里村遺跡 [沖縄県教育委員会 1990]

新里村遺跡は竹富島の北東部、海岸沿いに立地する。1986・1987年に発掘調査が行われた集落遺跡である。遺跡は中央にある湧水井戸「花城井戸（ハナクンガー）」を境に東西2つの村に分かれ、



写真3 フルスト原遺跡 復元された石塁



写真4 新里村遺跡現況 (2018.10.15撮影)

東側は「石垣」がない12・13世紀の村、西側は「石垣」で囲まれた屋敷が連なる14・15世紀の村と位置づけられている。また、西側の村の屋敷地では、高床式建物（倉庫）を含む複数の建物が確認されている。

貿易陶磁の調査は、花城井戸を境に東西に分けて分類・計数した。総計は、陶器壺・甕類、朝鮮半島産陶磁器を除く1,024点である。<sup>(8)</sup>西側の村・東側の村ともに、Ⅲ期から遺物が増加し、Ⅳa期で最大となり、Ⅳb期に減少する。

### (5) 先島諸島の採集資料

ジョージ・H・カー氏採集資料 [沖縄県立博物館 1982・1983]

ジョージ・H・カーは、1960～1962年にアメリカ国立科学院太平洋科学局の琉球列島学術調査の一環として、沖縄県内の遺跡の実態調査を実施した。調査の際に採集された資料の大半は、その後、沖縄県立博物館に寄贈され、1981年に再調査が行われ報告書が刊行された [沖縄県立博物館 1982・1983]。木箱数百に及ぶ膨大な資料であり、とくに発掘調査事例の少ない八重山地域では貴重なものである。今回の調査では、ジョージ・H・カー氏の採集資料のうち、石垣島を除く八重山諸島の資料について、沖縄県立博物館・美術館で調査した。

1981年の再調査では、大濱永旦と阿利直治がジョージ・H・カーの記した採集地点（遺跡名）と沖縄県教育委員会の詳細分布調査 [沖縄県教育委員会 1980] で認定した遺跡との照合を行い、報告書に一覧表を掲載している。今回の調査では、これらの成果を元に遺跡の特定を行っているが、報告書でも述べられているように、1981年時点で遺跡の位置が不明なもの、すでに開発により消滅した遺跡もあり、すべての資料の出土地点が明らかになっているわけではない。

また、2009年に仲座久宣・羽方誠が与那国島の採集資料の報告する中で、ジョージ・H・カーの採集資料を再調査し、地名等からあらたに遺跡比定を行っている [仲座・羽方 2009]。

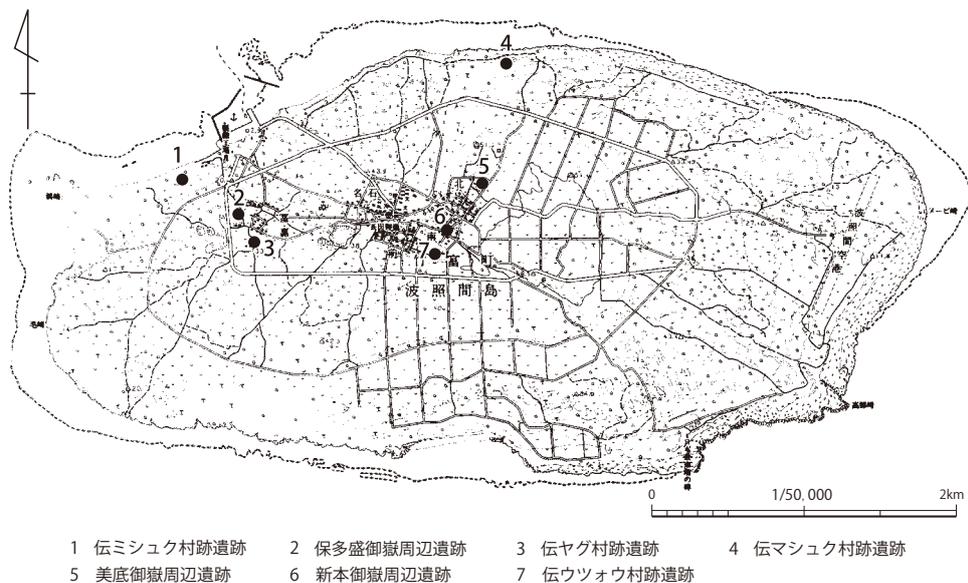


図1 波照間島遺跡位置図

以上の2回の再調査の成果を参考とし、まとまった量の遺物が採集された遺跡についての概要と、今回の陶磁器調査の成果を記す。なお、ジョージ・H・カー氏採集資料についても、陶器壺・甕類、朝鮮半島産陶磁器の調査は行っていない。

### 波照間島

美底御嶽周辺遺跡〈アタンシ・アタン近辺〉 〈 〉はジョージ・H・カー表記

美底御嶽は波照間島中央の集落のうち、北部落の北側に位置し、草分け家の屋敷跡と伝えられる場所である。この御嶽一帯では中世の陶磁器が採集され、かつてムラがあったとされている〔小野1999〕。

分類・集計した貿易陶磁は552点で、IVa期からV期にかけてのものが多い。

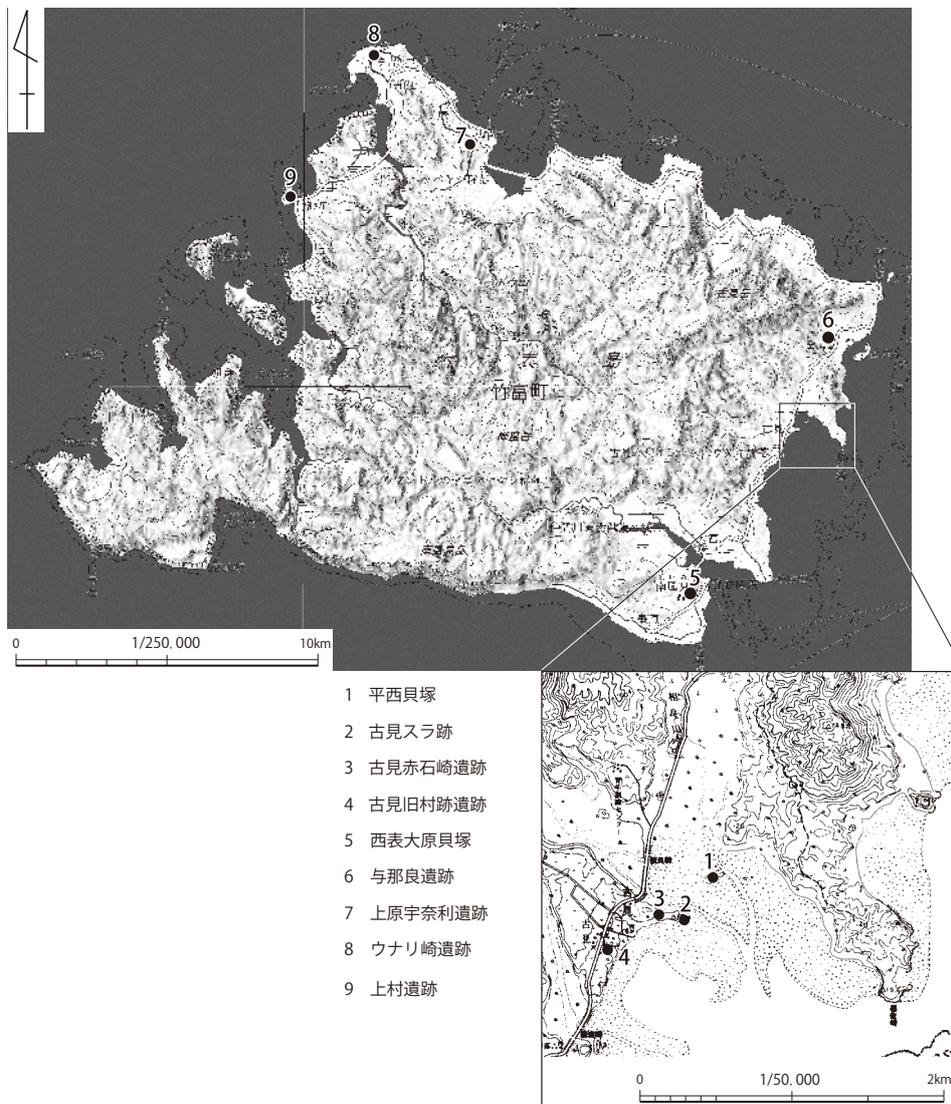


図2 西表島遺跡位置図

#### 伝ミシュク村跡遺跡〈ミスク・カンチ〉

波照間島の創始伝説の井戸，ミシュクゲー（泉）の周辺にかつて存在したムラ跡である。今回の調査で測量図を作成し，後世の改変はあるものの細胞状の石積みにより区画された屋敷跡が確認された。

分類・集計した貿易陶磁は174点で，美底御嶽周辺遺跡と同様にIVa期からV期にかけてのものが多く。

#### 新本御嶽周辺遺跡〈南部落〉

新本御嶽は南部落の北側に位置し，南部落の刀禰元であったとされる新本家が隣接する。美底御嶽と同様に，この御嶽の周辺でも中世の陶磁器が採集される。かつてはムゲ村と呼ばれた村の中にある。

貿易陶磁は38点と少ないが，Ⅲ～Ⅵ期の遺物が確認された。

#### 伝ヤグ村跡遺跡〈ヤグ村〉

外（富嘉）部落，阿底御嶽の西側に位置する，かつてムラがあったと伝承される場所で，中世の陶磁器が散布している。ヤグ村の西には，外部の刀禰元である保多盛家の古墓がある。先のミシュク村の創始伝説では，波照間の創始者の兄弟は，ミシュクからヤグ村に移動，その後，現在の保多盛家の場所に移ったとされる [アウエハント 2004]。

分類・集計した貿易陶磁はⅢ～Ⅴ期の71点で，IVa期のものが多く。

### 西表島

#### 古見赤石崎海岸周辺・平西貝塚周辺〈古見海岸・古見城跡・坂・東部ピニシ海岸〉

古見海岸は西表島東部に位置する，島内では比較的開けた海岸である。海岸に突出する標高10mあまりの小丘陵上に古見赤石崎遺跡，その南側には古見旧村跡遺跡があり，いずれも中世～近世の陶磁器が散布している。古見海岸に流入する後良川河口には小島があり，島全体が県指定史跡平西貝塚であり，陶磁器・土器の包含層が確認されている。古見海岸でジョージ・H・カーが採集した場所は個々には特定できないが，いずれもこれらの遺跡と海岸部と考えられる。

古見海岸周辺4地点の貿易陶磁の総計は1,072点に及ぶ。出土数はⅢ期からⅤ期にかけて次第に増加し，Ⅴ期で最大となる。

#### 祖納集落周辺〈祖納廃村・祖納海岸・祖納〉

祖納集落は西表島北東部に位置し，現在の集落西部の海岸に突出した小高い岬上には，上村遺跡がある。祖納廃村とは上村遺跡の可能性が高い [沖縄県教育委員会 1991]。上村遺跡では「石積み」で区画された屋敷跡が確認でき，拝所も残されている。また，西表島の按司である慶来慶田城用緒屋敷跡，大竹祖納堂儀左屋敷跡と伝承される屋敷跡もある。



写真5 引潮時の古見赤崎海岸  
(写真中央の岬が古見赤崎遺跡)

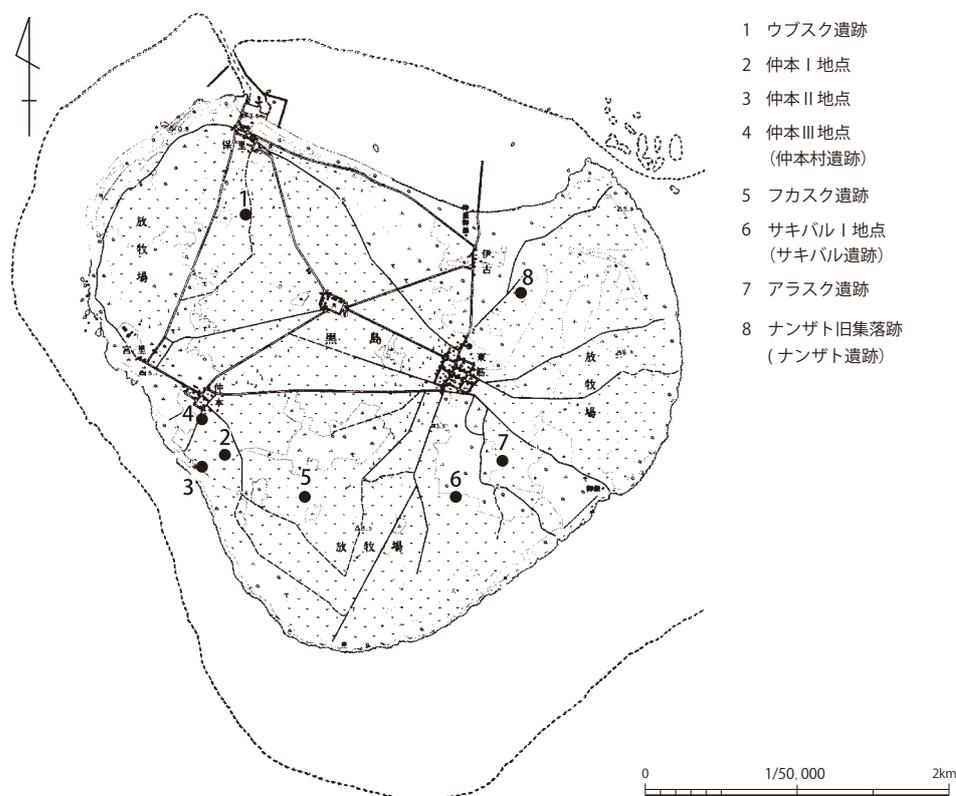


図3 黒島遺跡位置図

3地点の貿易陶磁の総計は75点で、V期のものが多い。

## 黒島

### ナンザト遺跡〈ナンザツ〉

東筋集落から東へ1 kmほどの牧草地の中にあり、明和の大津波により東筋集落に移転・統合したナンザト村のあった場所と伝わる。かつては石積みや陶磁器の散布が見られたが、現在は牧草地改良のため破壊されている可能性が高い。

貿易陶磁は12点のみで、IVb期・V期の青磁が各4点採集されている。

### アラスク遺跡〈アラスク〉

仲筋集落の南約600 mに位置し、一辺約30 mの隅丸方形の「石積み」を巡らせた遺構が残る。石積みは2ヶ所途切れており入口と考えられているが、遺構の性格は不明である。かつては陶磁器・土器・貝などが採集された。

貿易陶磁はわずか10点であるが、このうち5点がIVb期の青磁である。

## 竹富島

### 花城村跡遺跡〈ハナスク〉

花城村遺跡は竹富島の東部に位置し、東西約500 m・南北約100 mの範囲である。遺跡内に花城

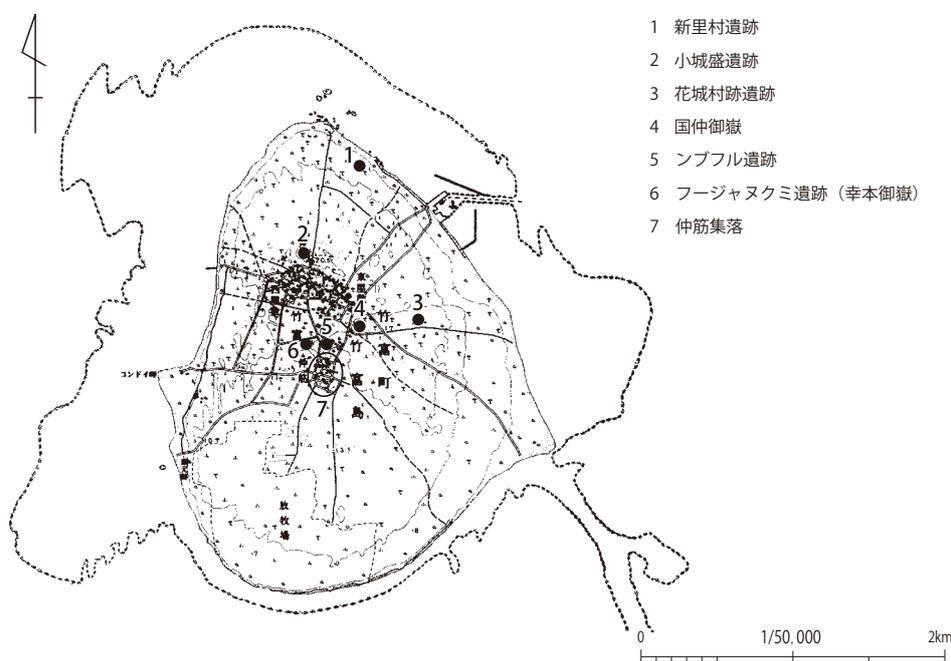


図4 竹富島遺跡位置図

御嶽・久間原御嶽・波利若御嶽がある。「石積み」による細胞状の区画が展開し、北側の崖はとくに高い「石積み」が連なっている。崖下には井戸が並ぶ。1993～1995年度に、国立歴史民俗博物館の特定研究の一環で測量調査が実施され、約40基の屋敷区画が確認された。1997・1998年には、2箇所の屋敷地で発掘調査が行われ、14世紀後半～15世紀の貿易陶磁が出土している〔仲盛1999〕。

今回調査したジョージ・H・カーの採集資料は11点で、Ⅲ～Ⅴ期の青磁である。

#### ンブフル遺跡〈ウブフル神社〉

島のほぼ中央に位置するンブフル丘を中心に展開する遺跡で、南側に幸本御嶽、北側に仲筋井戸がある。一部に「石積み」が残っており、竹富町教育委員会の発掘調査では良好な遺物包含層が確認された。

貿易陶磁はⅣa期～Ⅴ期の青磁、14点である。

#### 仲筋村周辺〈仲筋村歩道〉

仲筋村は現在の竹富島の3つの集落のうちの1つで、北側にンブフル遺跡、西側に幸本御嶽のあるフージャヌクミ遺跡がある。「仲筋村歩道」というジョージ・H・カーの表記では、具体的な採集位置は判明しないが、現仲筋集落の中でもかつては陶磁器が散布していた可能性がある。

87点の貿易陶磁があるが、そのうち、50点が分類可能であった。Ⅲ期は白磁1点のみ、Ⅳa期は少なく、Ⅳb期とⅤ期の青磁が多い傾向が確認できた。

#### 沖縄県教育委員会ぐすく分布調査資料〔沖縄県教育委員会1994〕

1990～1993年度に沖縄県教育委員会が実施した、八重山諸島のグスク遺跡の詳細分布調査で採集された陶磁器の調査を行った。当資料は報告書に掲載された資料が沖縄県立埋蔵文化財センター



写真6 仲本Ⅰ地点  
(写真中央の林に石積みが残る)



写真7 ナンザⅠ旧集落跡  
(写真左が北神山御嶽)

に所蔵されており、それらを調査対象とした。

また、報告書掲載以外の資料のうち、西表島与那良遺跡で表採された貿易陶磁 543 点が沖縄県立埋蔵文化財センターに所蔵されており、あわせて分類・集計を行った。与那良遺跡の貿易陶磁の時期はⅢ期からⅤ期にわたるが、Ⅳa・Ⅳb 期が多く、Ⅴ期でやや減少する傾向がある。

#### 沖縄県教育委員会生産遺跡分布調査資料 [沖縄県教育委員会 1995]

沖縄県教育委員会が実施した生産遺跡分布調査で採集された資料のうち、沖縄県立埋蔵文化財センターが所蔵する西表島古見スラ跡の資料を調査した。総数は 36 点で、Ⅲ期～Ⅴ期が確認され、Ⅴ期が最も多い。

#### 国立歴史民俗博物館所蔵資料 [小野 1991, 篠原 1999]

前述の国立歴史民俗博物館の特定研究の一環で八重山地域の村落調査を行なわれ、調査中に黒島の 7 地点で貿易陶磁が採集された。現在、資料は国立歴史民俗博物館で所蔵・展示されており、それらの悉皆調査を行った。

#### 仲本Ⅰ～Ⅲ地点

仲本地点は現仲本集落の南側一帯、島の西海岸に近い南風保多御嶽北東部の牧草地一帯に位置する。牧草地の中に「石垣」がわずかに残る遺跡を仲本Ⅰ地点、南風保多御嶽周辺を仲本Ⅱ地点、仲本集落南側を仲本Ⅲ地点と分けて遺物が採集されている。このうち、仲本Ⅰ地点は、伝承ではかつて「アーザト」・「パイフタ」の集落があったとされる場所である。仲本Ⅲ地点は沖縄県教育委員会による分布調査報告では「仲本村跡遺跡」と呼称されている [沖縄県教育委員会 1994]。

仲本Ⅰ地点では 9 点、Ⅱ地点では 10 点あり、いずれもⅣa 期～Ⅴ期のものである。仲本Ⅲ地点はⅤ期の青磁 1 点のみである。

#### サキバルⅠ地点

サキバルⅠ地点は東筋集落の南側にある牧草地に位置する。サキバル按司の城や明和の天津波以前にはサキバル集落があったと伝承される場所である。1980 年の沖縄県教育委員会の詳細分布調査の段階では、300 m 四方に遺物が散布していると報告されているが、その後の牧草地改良事業によって遺跡の大半が失われた。沖縄県教育委員会による分布調査報告では「サキバル遺跡」と呼称され

ている。

貿易陶磁はIVa期～V期の青磁9点と時期不明の染付1点の計10点である。

#### ナンザト旧集落跡

ナンザト旧集落跡は東筋集落の北東に位置する北神山御嶽に隣接する。現在は牧草地になっており、遺構や遺物は確認できない。沖縄県教育委員会による分布調査報告では「ナンザト遺跡」と呼称されている。

貿易陶磁はIVa期～V期の青磁8点と染付3点の計11点である。



写真8 古見赤石海岸採集資料の調査

#### 西表島古見赤石海岸採集資料

今回の調査中、2017年3月11日に西表島の集落踏査を行った。その際、古見赤石海岸において引き潮時に大量の陶磁器が散布している状況が認められた。海岸に散布している状況であったが、砂や潮による摩耗や海中生物の付着はなく、長く海中に沈んでいたものではないと思われた。散布地の海岸の崖上には古見赤崎遺跡があることから、これらに関連する参考資料として採集を行った<sup>(10)</sup>。

採集した貿易陶磁はⅢ期～Ⅵ期にわたる150点で、IVb期。V期が多い傾向が認められた。他に近世の陶磁器や土器も多く散布していたが、これらの採集は行わなかった。

#### 註

(1)——褐釉壺・甕などの陶器類は時間的な制約から調査していない。天目茶碗や一部の壺類は表に数を示したが、遺跡により調査精度が異なるので、陶器はあくまでも参考数値である。

(2)——報告書に掲載できる遺物数には限りがあり、すべての時期や器種にわたって掲載されている場合は多くはない。とくに凶化できない破片資料は資料化されないことが多く、遺跡の存続期間や器種組成に反映されないこともある。すべての破片をデータ化することにより、存続期間の最大幅と、それぞれの器種・分類の量的な推移を明らかにすることが可能となる。

(3)——白磁碗 X・Yタイプに類似するものとして、「幅広高台タイプ青磁碗」(金武他1991)、「白磁福建・広東系F類」(新垣力・瀬戸哲也2005)があるが、X・Yタイプは現在のところ八重山地域でも限定された出土状況であること、沖縄本島の資料調査を行っていないことから、年代的な位置づけは保留している。

(4)——「粗製」の概念について厳密な基準を設けることはできなかったが、①胎土が不良、②釉調が悪い、もしくは釉掛けが不適切、③焼成不良、④高台等整形が雑で簡略化している、などの製品を粗製とした。

(5)——ミヌズマ遺跡は報告書作成のための資料整理の途中であったが、宮古島市教育委員会の御好意で調査させていただいた。

(6)——先島諸島の集落遺跡でみられる屋敷を囲む石を積んだ区画遺構に関しては、報告書や報告者により、「石垣」、「石塁」、「石積」等、複数の名称が使われている。現状では明確な定義や分類等がないため、本稿では報告書・報告者の使用する名称をそのままカッコ書きで記した。

(7)——フルスト原遺跡は報告書作成中であったが、石垣市教育委員会のご協力により、遺物整理が完了した時点で石塁ごとに調査を行うことができた。

(8)——沖縄県立埋蔵文化財センターに所蔵されていた

新里村遺跡の資料のうち、報告書掲載以外の破片については、東西に分けた状態で収納されていなかったため、注記と報告書のグリッド図を対照し、東西に分けて集計した。

(9)——国立歴史民俗博物館 特定研究「列島内装具交流の研究 奄美・沖縄の文化とその展開」  
(10)——現在、資料は国立歴史民俗博物館が保管している。今後資料報告を行う予定である。

## 引用・参考文献

- アウエハント、コルネリアス 2004 『HATERUMA』 榕樹書林
- 新垣 力・瀬戸哲也 2005 「沖縄における14～16世紀の中国産白磁の再整理」『紀要 沖縄埋文研究』3 沖縄県埋蔵文化財センター
- 石垣市教育委員会 1983 『ピロースク遺跡』
- 石垣市教育委員会 1984 『フルスト原遺跡発掘調査報告書』
- 上田秀夫 1982 「14～16世紀の青磁碗の分類について」『貿易陶磁研究』No.2 日本貿易陶磁研究会
- 沖縄県教育委員会 1990 『新里村遺跡』
- 沖縄県教育委員会 1980 『竹富町・与那国町の遺跡』—詳細分布調査報告書—
- 沖縄県教育委員会 1991 『上村遺跡』
- 沖縄県教育委員会 1994 『ぐすく』—グスク分布調査報告書(Ⅲ)—八重山諸島—
- 沖縄県教育委員会 1995 『生産遺跡分布調査(Ⅰ)—県内生産遺跡分布調査報告—』
- 沖縄県立博物館 1982 『沖縄出土の中国陶磁(上)』—ジョージH・ケア氏調査収集資料—先島編
- 沖縄県立博物館 1983 『沖縄出土の中国陶磁(下)』—ジョージH・ケア氏調査収集資料—沖縄本島編
- 沖縄県立埋蔵文化財センター 2009 『沿岸地域遺跡分布調査概報(Ⅱ)～宮古・八重山諸島編～』
- 小野正敏 1982 「15～16世紀の染付碗、皿の分類と年代」(『貿易陶磁研究』No.2 日本貿易陶磁研究会)
- 小野正敏 1985 「出土陶磁器からみた15・16世紀における画期の素描」『MUSEUM』No.416
- 小野正敏 1991 「沖縄県黒島採集の陶磁器」『環境に関する民俗的認識と民俗技術的適応』平成3年度科学研究費補助金(一般B)研究成果報告書
- 小野正敏 1999 「密林に隠された中世八重山の村」『村が語る沖縄の歴史』国立歴史民俗博物館編 新人物往来社
- 小野正敏 2005 「横地氏関連遺跡群と出土陶磁器数値化調査の意義」『陶磁器から見る静岡県の中世社会』菊川シンポジウム実行委員会
- 喜界町教育委員会 2013 『城久遺跡群 大ウフ遺跡・半田遺跡』
- 喜界町教育委員会 2015a 『城久遺跡群 —総括報告書—』
- 喜界町教育委員会 2015b 『中増遺跡Ⅰ』
- 菊川町教育委員会 1999 『横地城跡 総合調査報告書』
- 菊川町教育委員会 2000 『横地城跡 総合調査報告書 資料編』
- 菊川シンポジウム実行委員会 2005 『陶磁器から見る静岡県の中世社会』
- 金武正紀 1988 「ピロースクタイプ白磁碗について」『貿易陶磁研究』No.8
- 金武正紀 1989 「沖縄における12・13世紀の中国陶磁器」『沖縄県立博物館紀要』第15号 沖縄県立博物館
- 金武正紀 1990 「沖縄の中国陶磁器」『考古学ジャーナル』No.320 ニューサイエンス社
- 金武正紀 他 1991 『今帰仁城跡発掘調査報告Ⅱ』今帰仁村教育委員会
- 金武正紀 1997 「第2節 11世紀末頃～16世紀の遺物」『銘苅原遺跡』那覇市教育委員会
- 金武正紀 2007 「今帰仁タイプ白磁碗」『南島考古』26
- 金武正紀a 2015 「第三章 八重山の歴(原)史時代」『石垣市史』各論編考古
- 金武正紀b 2015 「特論5 八重山の古村落」『石垣市史』各論編考古
- 久貝弥嗣 2015 「ミスズマ遺跡の発掘調査のもたらした宮古のグスク時代の新展開と今後の展望」『琉大史学』第17号 琉球大学史学会
- 国立歴史民俗博物館編 1993 『日本出土の貿易陶磁』国立歴史民俗博物館資料調査報告4
- 国立歴史民俗博物館編 1994 『日本出土の貿易陶磁』国立歴史民俗博物館資料調査報告5
- 篠原 徹 1999 「記憶される井戸と村—黒島の廃村と伝承—」『村が語る沖縄の歴史』国立歴史民俗博物館編 新人物往来社

- 
- 瀬戸哲也・仁王浩司・玉城 靖・宮城弘樹・安座間充・松原哲志 2008 「沖縄における貿易陶磁研究—14～16世紀を中心に」『紀要 沖縄埋文研究』5 沖縄県埋蔵文化財センター
- 瀬戸哲也 2010 「沖縄における12～16世紀の貿易陶磁」『貿易陶磁研究』No.30 日本貿易陶磁研究会
- 瀬戸哲也 2014 「沖縄における14～16世紀の中国陶磁の様相」第35回日本貿易陶磁研究集会『琉球列島の貿易陶磁』資料集
- 瀬戸哲也 2015 「14・15世紀の沖縄出土中国産青磁について」『貿易陶磁研究』No.35 日本貿易陶磁研究会
- 平良市教育委員会 1999 『住屋遺跡（I）』
- 田中克子 2009a 「ピロースタイプに関わる窯跡とその製品」木下尚子（編）『13～14世紀の琉球と福建』
- 田中克子 2009b 「生産と流通」木下尚子（編）『13～14世紀の琉球と福建』
- 仲座久宣・羽方 誠 2009 「与那国島で採集した考古資料」『与那国島総合調査報告書』沖縄県立博物館・美術館
- 仲盛 敦 1999 「花城村遺跡発掘調査の概要」『村が語る沖縄の歴史』国立歴史民俗博物館編 新人物往来社
- 宮城弘樹 2009 「今帰仁タイプに関わる窯跡とその製品」木下尚子（編）『13～14世紀の琉球と福建』
- 森田 勉 1982 「14～16世紀の白磁の型式分類と編年」『貿易陶磁研究』No.2 貿易陶磁研究会
- 横田賢次郎・森田 勉 1978 「大宰府出土の輸入中国陶磁器について」『九州歴史資料館研究論集』4
- 山本信夫 2000 『大宰府条坊跡XV—陶磁器分類編—』大宰府市教育委員会
- 山本信夫 2007 「山陰の出土貿易陶磁と傾向—集落における消費形態及び北部九州と日本海流通に関する基礎的検討」『波原遺跡・森広遺跡・片山遺跡』下関市文化財調査報告書 25

池谷初恵（伊豆の国市教育委員会文化財調査員）

小野正敏（国立歴史民俗博物館名誉教授）

岩元康成（始良市教育委員会主査）

小出麻友美（千葉県立中央博物館研究員）

佐々木健策（小田原市文化財課係長）

村木二郎（国立歴史民俗博物館研究部准教授）

（2020年7月9日受付，2020年10月16日審査終了）

表1 青磁碗・皿分類表(1)

\*消費地から見た年代

器種	分類名	主な特徴	年代	対応分類	備考
碗	同安窯系	内面または内外面に櫛描き文を有するもの			
	A類	外面に片切彫りの沈線 内面に櫛描きによる花文	12c. 後葉～ 13c. 初頭	横田森田 1978：同・碗Ⅲ類 山本 2000：同・碗Ⅲ類	
	B類	外面無文もしくは細かい櫛目 内面文様はA類と同様	12c. 後葉～ 13c. 初頭	横田森田 1978：同・碗Ⅰ類 山本 2000：同・碗Ⅰ類	
	初期龍泉窯系 A0類	外面にヘラによる片切彫りの綫条文 内面に蓮花唐草文など 櫛描き文多用	12c. 前半	山本 2000：初期同安・龍泉 亀井 1992：竜東第Ⅰ段階	
	龍泉窯系A類	劃花文を主体とした一群			
	A1類	内外面無文 高台は断面四角形 高台壘付部および高台内は無釉	12c. 後葉～ 13c. 初頭	横田森田 1978：龍・碗Ⅰ-1類 山本 2000：龍・碗Ⅰ-1類	
	A2類	内面に草花文を有す 高台は断面四角形 高台壘付部および高台内は無釉	12c. 後葉～ 13c. 初頭	横田森田 1978：龍・碗Ⅰ-2類 山本 2000：龍・碗Ⅰ-2類	
	A3類	ヘラおよび櫛状のもので花文様を施す 高台は断面四角形 高台壘付部および高台内は無釉	12c. 後葉～ 13c. 初頭	横田森田 1978：龍・碗Ⅰ-3類 山本 2000：龍・碗Ⅰ-3類	
	A4類	2本の沈線により体部内面を分割し、その中に飛雲文などを描く 高台は断面四角形 高台壘付部および高台内は無釉	12c. 後葉～ 13c. 初頭	横田森田 1978：龍・碗Ⅰ-4類 山本 2000：龍・碗Ⅰ-4類	
	A6類	外面に蓮弁を削りだし、その上に縦に櫛目を入れるもの 高台は断面四角形 高台壘付部および高台内は無釉	12c. 後葉～ 13c. 初頭	横田森田 1978：龍・碗Ⅰ-6類 山本 2000：龍・碗Ⅰ-6類	
	龍泉窯系B類	蓮弁文の一群			
	B0類	幅の狭い蓮弁文 高台の断面は細く尖る 高台内外全面施釉後、高台端部の釉をかきとる	13c. 末葉～ 14c. 前半	横田森田 1978：龍・碗Ⅲ類 山本 2000：龍・碗Ⅲ-2C類 上田 1982：A-I類	
	B1類	高台は断面四角形 高台壘付部および高台内は無釉	13c. 中葉～ 14c. 前半	横田森田 1978：龍・碗Ⅰ-5類 山本 2000：龍・碗Ⅱ類 上田 1982：B-I類	
	B2類	高台端部外面斜めの面取り 壘付部・高台内は無釉	14c. 末～ 15c. 中葉	上田 1982：B-II類	
	B3類	線描きは片切彫りまたは丸彫り 高台内途中まで施釉	15c.2/4～ 3/4	上田 1982：B-Ⅲ類	
	B4類	線描きはヘラ先による 高台内途中まで施釉、もしくは全面施釉後 外底を輪状に削りとる	15c. 後半～ 16c.1/4	上田 1982：B-Ⅳ類	
	龍泉窯系C類	口縁部に弦文帯、雷文帯を巡らせる一群 口縁部は直口型			
	C1類	口縁部に条線文を巡らし数ヶ所を斜線で画する 弦文ともよばれる 高台は断面四角形で高く、釉は外面まで	14c. 後半	上田 1982：C-I類	
	C2類	外面口縁部に雷文帯、体部下半にラム式蓮弁文を有するもの 高台内途中まで施釉、もしくは全面施釉後 外底を輪状に削りとる	15c. 前～中 葉	上田 1982：C-II類	詳しくは15c.2/4～ 3/4 友ヶ島(1450 ～1470)が参考 文明年間
	C3類	口縁部に退化した雷文帯を残す小形碗 高台内途中まで施釉	16c. 前半	上田 1982：C-Ⅲ類	
	龍泉窯系D類	無文の端反碗の一群			
	D1類	大型のもので高台と高台内に釉がかからないもの 口縁部も比較的薄いシャープなつくりで釉は薄く透明感がある 高台の施釉は高台外面まで、外底は無釉	14c. 後半～ 15c. 前葉 (はじめ 1/4)	上田 1982：D-I類	
	D2類	小型のもので高台に釉がかかる 口縁部は玉縁風に厚い 口縁端部は丸く釉が厚い	15c. 中葉～ 後半 (はじめ)	上田 1982：D-II類	詳しくは15c.2/4～ 3/4

表2 青磁碗・皿分類表 (2)

\*消費地から見た年代

器種	分類名	主な特徴	年代 (案)	対応分類	備考 (メモ)
碗	龍泉窯系 E 類	無文の直口形碗の一群			
	E1 類	見込みに印花文が入るものあり 高台内途中まで施釉、もしくは全面施釉後外底を輪状に削り取る	15c. 中葉～ 16c. 前半	上田 1982 : E 類	
	E2 類	C3 類と同器形で、高台内途中まで施釉	16c. 代	上田 1982 : E 類 新	
皿	同安窯系	内底面に櫛描き文を有するもの	12c. 後葉～ 13c. 初頭	横田森田 1978 : 同・皿 I 類	
	劃花文皿	内底面に劃花文を有するもの	12c. 後葉～ 13c. 初頭	横田森田 1978 : 龍・皿 I 類	
	折縁皿	口縁部が折れ、ほぼ水平近くを開くもの 内・外面に蓮弁文を有するもの、無文のもの、内底面に双魚文をもつ例などがある	13c. 後半～ 14c. 前半	横田森田 1978 : 龍・坏皿 - 2・3・4 類	文様の有無や文様構成により碗に準じて、「折縁皿無文」、「折縁皿蓮弁文 B2」などと細分が可能
	腰折皿	体部下位が屈曲するもの	13c. 末葉～ 14c. 前半	横田森田 1978 : 龍・坏皿 - 1 類	
	内彎皿	体部から口縁部にかけて内彎するもの	15c. 中葉		
	端反皿	口縁部が外反するもの	15c. 中葉～ 後半		
	腰折丸皿	腰部で折れ、口縁部は外反または直線的に開く	15c. 中		
	稜花皿	腰部で折れ、口縁部は外反する 口縁部が稜花形を呈し内面に櫛描き波状文が入る例が多い	15c. 後半～ 16 初		
	菊皿	型押し of 菊花形の皿	16c. 中葉～ 後		天文年間から
	碁笥底皿	底部が碁笥底状を呈す	15c. 後半～ 16c.		
盤	分類ナシ				

表3 白磁碗・皿分類表 (1)

\*中世前期は横田森田分類、後半は小野分類と森田分類を採用 \*碗・皿Ⅱ～Ⅸ類は博多年代

器種	分類名	主な特徴	年代 (案)	対応分類	備考
碗	Ⅱ類	いわゆる玉縁碗の一群で小さな玉縁口縁 釉は黄色味を帯びる 広東系	11c. 後半～ 12c. 前半	横田森田 1978 : 碗Ⅱ類 山本 2000 : 碗Ⅱ類	東国は 12c. 後半まで残る
	Ⅳ類	いわゆる玉縁碗の一群で大きな玉縁口縁 胎土は粗く灰色気味 高台は幅広で削出しが浅いため底部が肉厚になる 福建系	11c. 後半～ 12c. 前半	横田森田 1978 : 碗Ⅳ類 山本 2000 : 碗Ⅳ類	東国は 12c. 後半まで残る
	Ⅴ類	いわゆる端反碗の一群 高台は細く高く直立 口縁部は外反もしくは屈曲して水平 福建系	11c. 後半～ 12c. 前半	横田森田 1978 : 碗Ⅴ類 山本 2000 : 碗Ⅴ類	東国は 12c. 後半まで残る Ⅴ-4 は 13c. 初頭まで
	Ⅵ類	いわゆる端反碗の一群 高台は比較的細く低いもの 中形の碗	11c. 後半～ 12c. 前半	横田森田 1978 : 碗Ⅵ類 山本 2000 : 碗Ⅵ類	東国は 12c. 後半まで残る
	Ⅶ類	いわゆる端反碗の一群 高台は比較的細く低い 体部は内彎、口縁は外反、青白磁に類似	12c. 中～後半	横田森田 1978 : 碗Ⅶ類 山本 2000 : 碗Ⅶ類	東国は 13c. 初頭まで残る可能性
	Ⅷ類	いわゆる端反碗の一群 高台は比較的細く低い 見込みの釉を輪状にかきとる 口縁は外反、水平、直口など (口縁ではⅤ類と区別できない)	12c. 中～後半	横田森田 1978 : 碗Ⅷ類 山本 2000 : 碗Ⅷ類	東国は 13c. 初頭まで残る
	Ⅸ類	いわゆる口禿碗の一群 口縁部の釉をかきとり口禿とする	13c. 中～ 14c. 初頭	横田森田 1978 : 碗Ⅸ類 山本 2000 : 碗Ⅸ類	
	枢府系	体部は内彎 口縁部は外反または直口 高台付部は幅広で、外側下端は面取り 釉は高台外面下端までかかり、高台内は無釉 内面に緻密な型文を有す例が多い 同タイプで皿と坏あり	14c. 中葉～ 後半	森田 1982 : B・B' 群 山本 2000 : 碗 B 類	

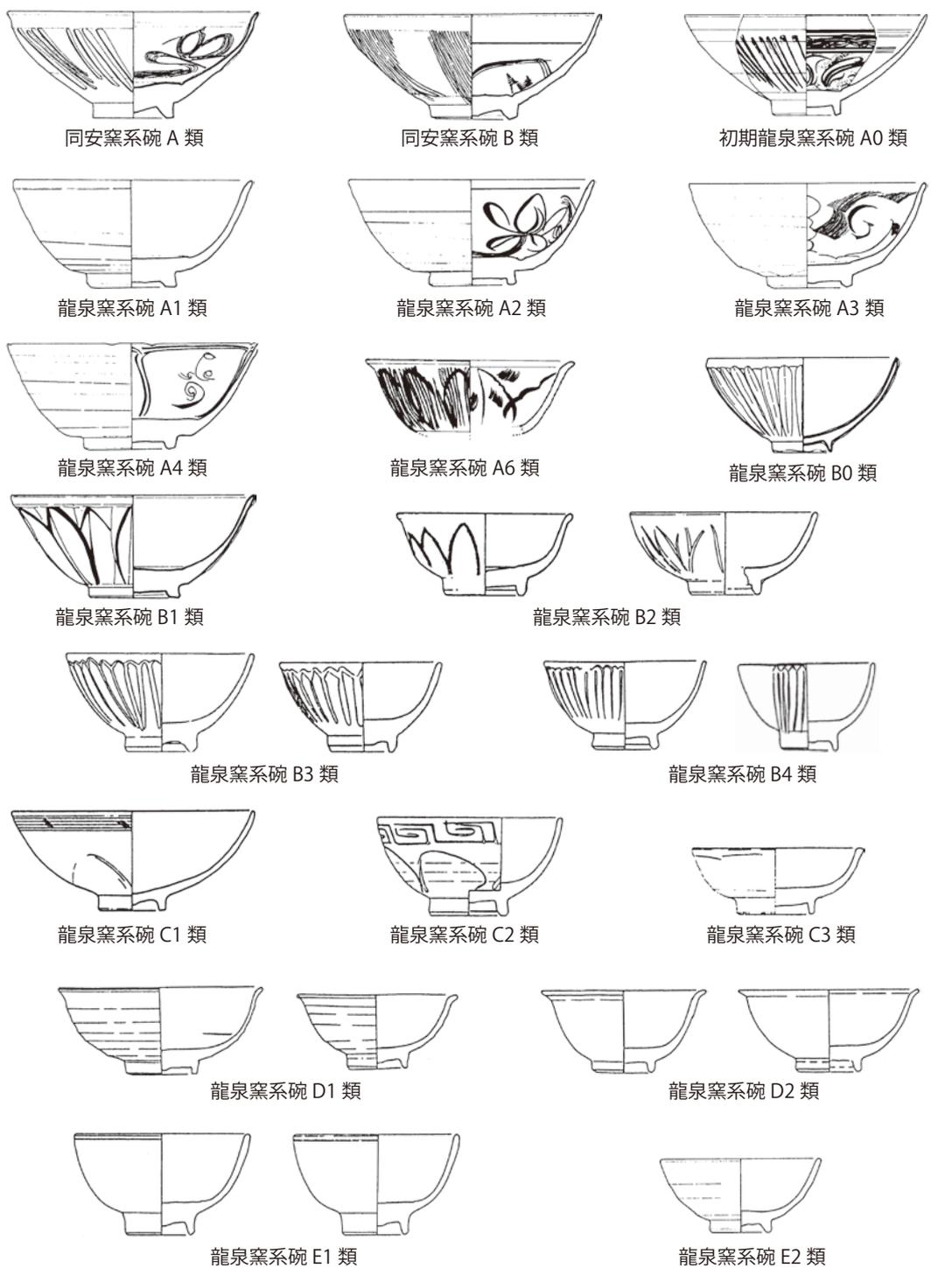
表4 白磁碗・皿分類表(2)

\*中世前期は横田森田分類, 後半は小野分類と森田分類を採用 \*碗・皿Ⅱ～Ⅸ類は博多年代

器種	分類名	主な特徴	年代(案)	対応分類	備考(メモ)
碗	浦口窯系	比較的薄手で、口縁部が直口型 内底面輪状釉剥ぎまたは露胎となる 今帰仁タイプ含む	13c. 後半～ 14c. 前半	金武 2007 金武・田中 2009	
	ピロースク タイプ	厚手の内彎器形 高台畳付部は幅広で水平に切る 釉は外面体部下位～高台脇まで施釉される			
	0類	ピロースクタイプⅠ類に先行する タイプ(田中 2009)	13c. 後半?	田中 2009	
	Ⅰ類	口唇尖る 口縁下内面に圈線 内 面柳描き文あり	13c. 末～ 14c. 初頭に 琉球に入る	金武・田中 2009	
	Ⅱ類	内彎 見込みに小さな印花文	14c. 前半～ 中葉にピーク	金武・田中 2009	
	Ⅲ類	外反 見込みは平坦で、大きな印 花文	14c. 後半～ 15c. 前半	金武・田中 2009	
	C群	端反碗 端反皿C群と同時期	15c. 後半～ 16c. 前半	森田 1982: E群に含まれる	
	Xタイプ (住屋)	口縁部は外反 高台畳付部は平坦 で外側は面取り 外面高台脇まで 施釉し高台内は無釉 内底面の釉 は輪剥ぎ	現状では不 明	金武 他 1991: 直口大振り碗 瀬戸 2014: 青磁幅広高台タイプ 16C代	
	Yタイプ (住屋)	体部は内彎気味に立ち上がり、口 縁部は直口またはやや内彎 高台 はXよりもやや細く、高台外側 は削らない外面高台脇まで施釉し 高台内は無釉 内底面の釉は輪剥 ぎ	現状では不 明		
	Y'タイプ (住屋)	Yより高台径が小さく断面が細め 高台外側は削らない外面高台脇ま で施釉し高台内は無釉 内底面の 釉は輪剥ぎ(口縁形状不明)	現状では不 明		
Y大タイプ (住屋)	Yより高台径が大きい 高台外側 は削らない 外面高台脇まで施釉 し高台内は無釉 内底面は露胎 (口縁形状不明)	現状では不 明			
皿	Ⅱ類	口縁、高台、胎土、釉は碗Ⅳ類と 同様 福建系	11c. 後半～ 12c. 前半	横田森田 1978: 皿Ⅱ類 山本 2000: 皿Ⅱ類	東国は12c. 後半ま で残る
	Ⅲ類	高台を有するもの 口縁は直口か やや外反 見込みの釉を輪状にか きとる	12c. 中頃	横田森田 1978: 皿Ⅲ類 山本 2000: 皿Ⅲ類	
	Ⅳ類	平底を呈するもの 口縁は外反 底部はわずかに高台状に削り出す 広東系	11c. 後半～ 12c. 前半	横田森田 1978: 皿Ⅳ類 山本 2000: 皿Ⅳ類	東国は12c. 後半ま で残る
	Ⅴ類	全体に器壁が薄く、体部は直線的 に開く 体部下位は無釉か全面施 釉後けずりと 広東系	11c. 後半～ 12c. 前半	横田森田 1978: 皿Ⅴ類 山本 2000: 皿Ⅴ類	東国は12c. 後半ま で残る
	Ⅵ類	平底を呈するもの 底部は上げ底 状 体部に段を有す	11c. 後半～ 12c. 前半	横田森田 1978: 皿Ⅵ類 山本 2000: 皿Ⅵ類	東国は12c. 後半ま で残る
	Ⅶ類	底部外面をわずかに削り込み小さ な高台状とする	11c. 後半～ 12c. 前半	横田森田 1978: 皿Ⅶ類 山本 2000: 皿Ⅶ類	東国は12c. 後半ま で残る
	Ⅷ類	平底を呈するもので、体部が屈曲 し、底部は平底 見込みに草花文 を施す例がある	12c. 中頃～ 後半	横田森田 1978: 皿Ⅷ類 山本 2000: 皿Ⅷ類	東国は13c. 初頭ま で残る
	Ⅸ類	いわゆる口禿皿の一群 平底で口 縁部が口禿となる	13c. 後半～ 14c. 初頭	横田森田 1978: 皿Ⅸ類 山本 2000: 皿Ⅸ類	
	B群	挟り高台、内底面に溶着婚を残す 盃・面取盃も同時期	15c. 前半	小野 1985: 皿B群 森田 1982: D群に含まれる	
	C群	端反皿の一群			
	1群	古手のもの	15c. 後半	小野 1985: 皿C群 森田 1982: E群に含まれる	
	2群	新手のもの	16c. 前半	小野 1985: 皿C群 森田 1982: E群に含まれる	
	D群	型押し菊花文	16c. 中葉～ 後	森田 1982: E群に含まれる	天文年間から
E群	いわゆる碁笥底の一群で体部が開 いて内彎気味の口縁のもの	16c. 前半	森田 1982: E群に含まれる		

表5 染付碗・皿分類表

器種	分類名	主な特徴	年代(案)	対応分類	備考
碗	A 群	端反碗 口径に比して高台小さい ラマ式蓮弁文・牡丹文・宝相華唐 草文などの文様がある	14c. 中～後	小野 1982：染付碗 A 群	いわゆる元染の碗。 枢府と同じで厚い 削り出しの高台
	B 群	端反碗の一群 高い高台内を施釉 する 内底面に梅月・ねじ花・福 字・寿字などの文様がある	15c. 中頃～ 3/4	小野 1982：染付碗 B 群	内彎の削り出し高 台もあり
	C 群	蓮子碗の一群 高台内が凹形に窪 み、開いた器形である 内底面に 蓮花・法螺貝などの文様がある	15c.3/4～ 16c.1/4	小野 1982：染付碗 C 群	
	D 群	直口碗の一群 内底面が平坦で広 い	15c. 後半～ 16c. 初頭	小野 1982：染付碗 D 群	
	E 群	饅頭心型の一群 内底面が盛り上 がり、高台畳付部に砂が付着する ものがある 高台内に大明年造・ 天下太平などの文字がある	16c. 中葉～ 16c. 後葉	小野 1982：染付碗 E 群	天文年間から
	F 群	慶長頃 志野等とセットで出土 (大阪状例)	16c. 末～ 17c. 初頭	小野 1982：染付碗 F 群	16c. 中からの 罫皿 もあり
皿	B1 群	端反皿の一群で古手のもの 器壁 がやや厚く、内底面に十字花文・ 玉取獅子などの文様がある	15c. 後半～ 16c. 初頭 (1/4)	小野 1982：染付皿 B1 群	
	B2 群	端反皿の一群で新手的なもの 器壁 が薄く、大明年造・天下太平など の文字がある	16c. 中葉	小野 1982：染付皿 B2 群	
	C 群	基筥底の一群 体部が開いて内彎 きみの口縁をもつ 内底面に花 鳥・ねじ花・梵字などの文様があ る	15c. 後半～ 16c. 初頭 (1/4)	小野 1982：染付皿 C 群	16c. 後半の一群あ り
	E 群	器高が低く体部が内彎する 内底 面に蟹・獅子・山水人物・文字な どの文様がある	16c. 中葉～ 16c. 後葉	小野 1982：染付皿 E 群	天文年間から
	F 群	罫皿	16c. 後半～ 17c. 初頭		芙蓉手文様は 16c. 末～ 17c. 初頭



(代表的なもののみ掲載 詳細は対応する文献を参照)

図5 青磁碗 分類図

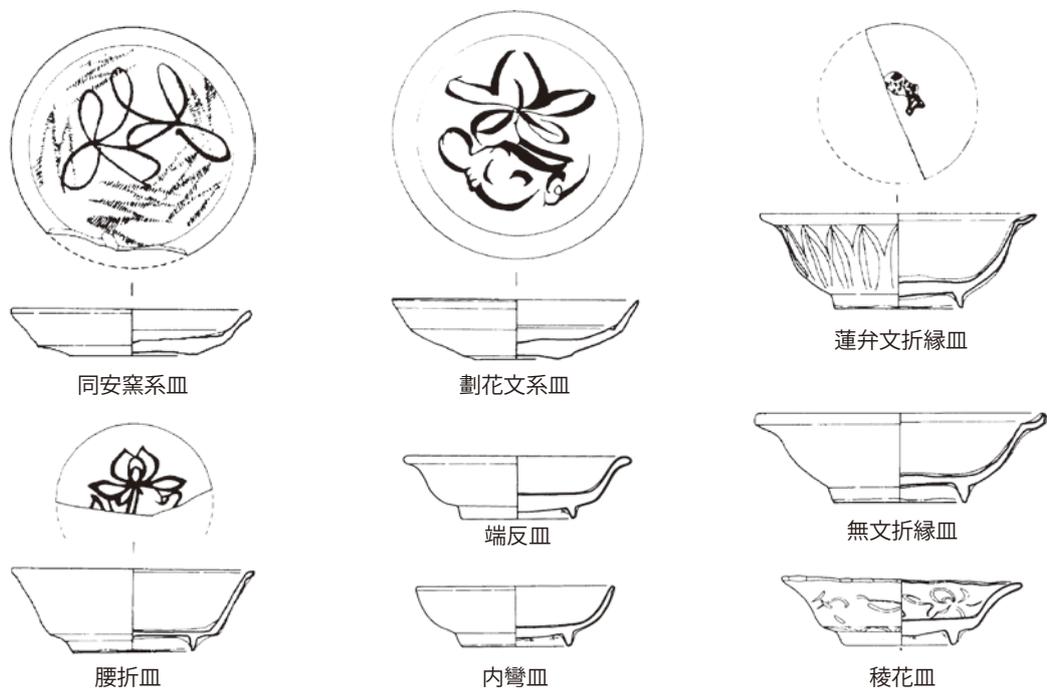
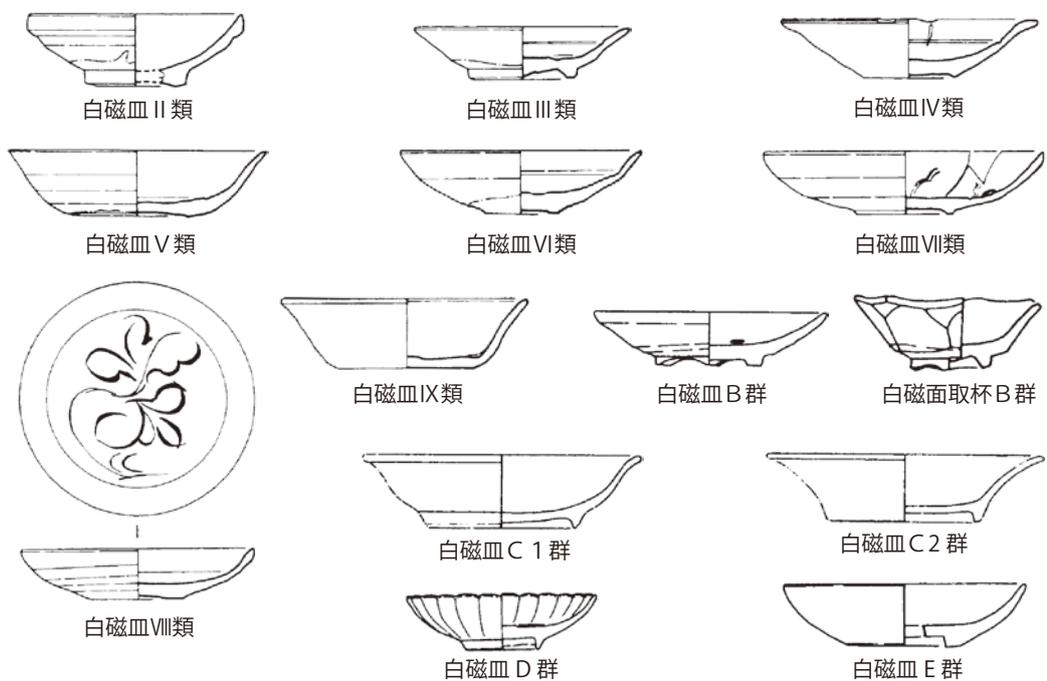
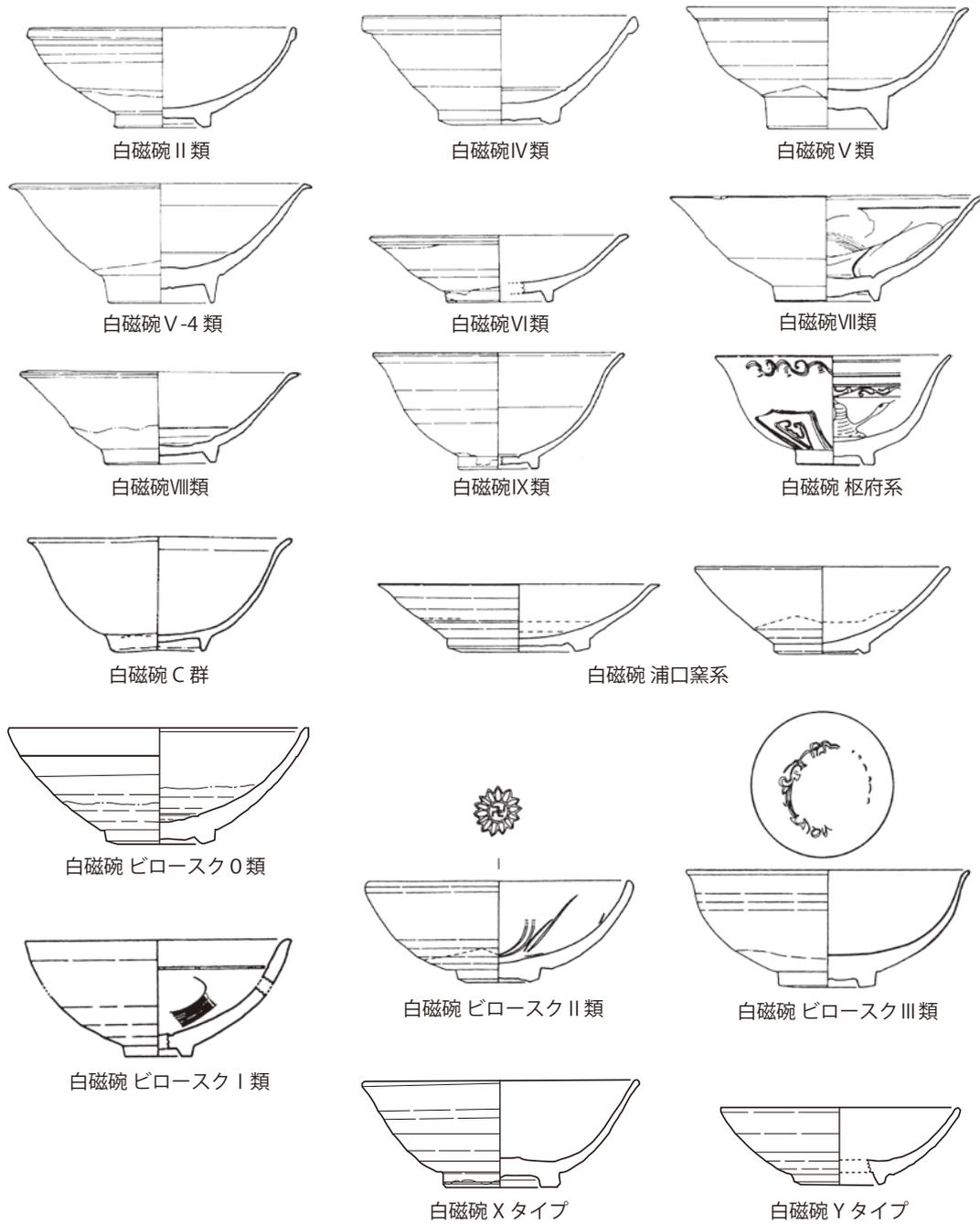


図6 青磁皿 分類図



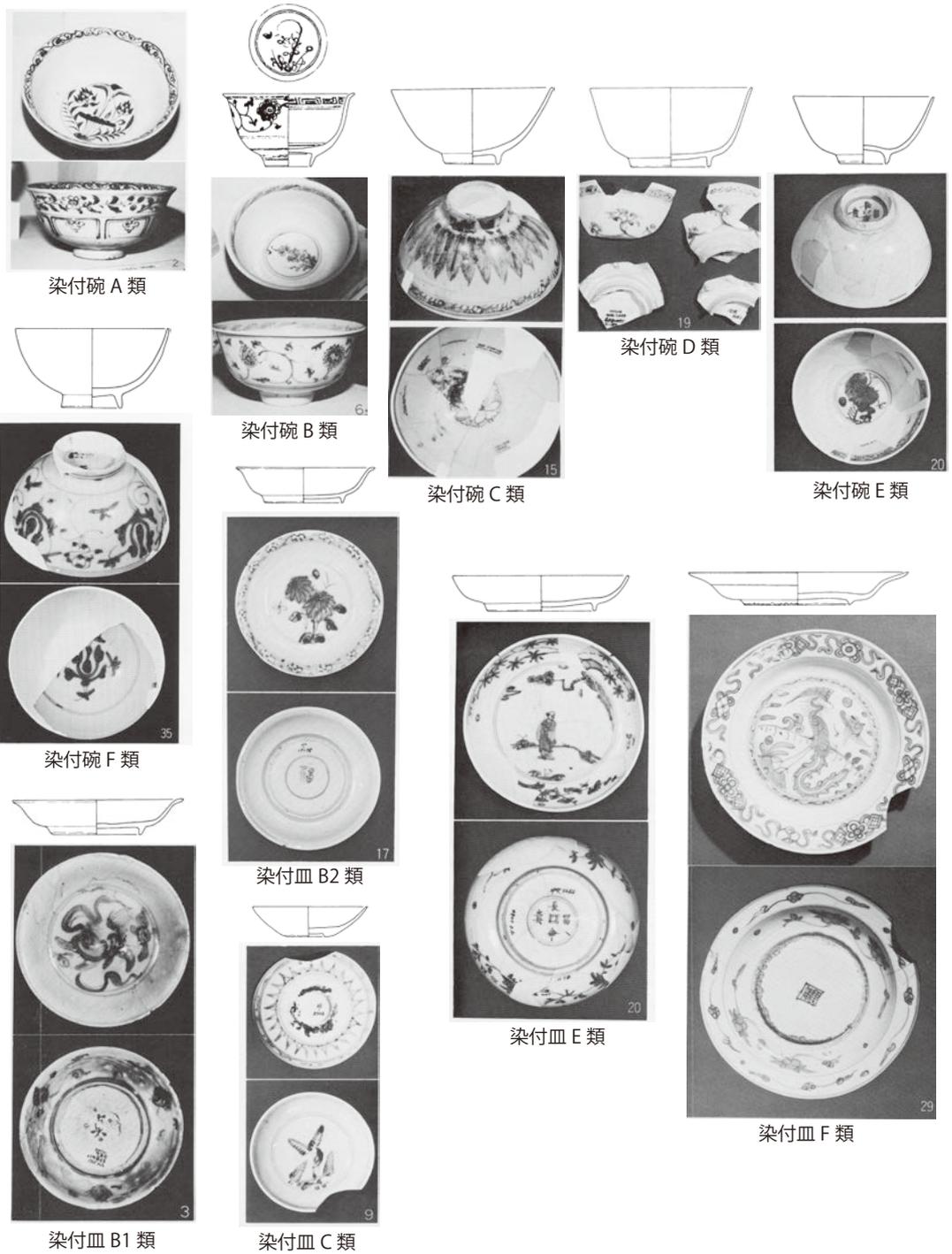
(代表的なもののみ掲載 詳細は対応する文献を参照)

図7 白磁皿 分類図



(代表的なもののみ掲載 詳細は対応する文献を参照)

図8 白磁碗 分類図



(代表的なもののみ掲載 詳細は対応する文献を参照)

図9 染付碗・皿 分類図

















表10 貿易陶磁集計表(5) —ジョージ・H・ケア採集資料③—

種類	器種	GHK表記	竹富島	竹富島	竹富島	竹富島	竹富島	竹富島	竹富島	竹富島	竹富島	竹富島	竹富島	竹富島	竹富島	計	
			フージャクミ	花城村跡 (ハナスク)	ンフル	新里村	仲筋集落周辺	小城盛?	幸本御蔵?	国仲御蔵周辺?	?	?	場所不明				
青磁	碗	同安窯系B														0	
		A1															0
		A2															0
		A4															0
		A不明															0
		B0															0
		B1															0
		B2								2							2
		B3								3							6
		B4								3							3
		C1			2	1	3			13	1					1	19
		C2			1	3				7			1				12
		C3															0
		D1			2	1	3			4		1		1	1		13
		D1 弦文															0
		D1 相当 (低高台 粗カ?)															0
		D1 相当															0
		D2			1					8							9
		D2 人形手															0
		D2 蓮弁文															0
		D2 相当 (人形手)															0
		D2 相当															0
		E1								3							3
		E2															0
		B0 系新 (D1 相当?)								1							1
		B2orB3															0
		B4orE1															0
		C1orC2															0
		C2orB3															0
		C2orD2															0
		D1orD2															0
		D2orE1															0
		不明 12 ~ 13c.															0
		不明 14c. 代															0
		不明 14 ~ 15c. (外面文様)															0
		不明 14 ~ 15c. (内面文様)															0
		不明 14 ~ 15c. (CorD)															0
		不明 14c. 後 ~ 16c. 前 (DorE)															0
		不明 14 ~ 15c.															0
		不明 15c. 代															0
		不明 15 ~ 16c.								3							3
		不明 輪花文 (D1 相当カ?)															0
		不明				1	4			29	1		1	1			37
		小碗	B0 相当														0
			B2 相当														0
D1 相当															0		
皿	D2 相当														0		
	不明														0		
	小碗 or 皿														0		
	同安窯系														0		
	劃花文系 (A 類)														0		
	折縁皿		1					1							2		
	折縁皿 蓮弁文														0		
	折縁皿 蓮弁文 B0 相当														0		
	折縁皿 蓮弁文 B2 相当														0		
	折縁皿 蓮弁文 B3 相当														0		
	腰折皿	1													1		
	内唇皿														0		
	内唇皿 C2 相当														0		
	内唇皿 D1 相当														0		
	内唇皿 D2 相当														0		
	端反皿														1		
	端反皿 B2 相当		1												1		
	端反皿 D1 相当														0		
	端反皿 D2 相当														0		
	端反皿 蓮弁文														0		
	腰折丸皿														0		
	後花皿				2				5			1				8	
	菊皿															0	
	蓼寄底皿															0	
	ソテ皿															0	
	直口皿															0	
	丸皿															0	
	大皿															0	
	大皿 D1orD2 相当															0	
	大皿 D2 相当														1		
	小皿															0	
	小皿 B4 文様															0	
	丸皿 or 端反皿															0	
	不明 D1 相当															0	
	不明 D2 相当								2	1						3	
	不明 14c.															0	
	不明 14c. 後半 ~ 15c.															0	
	不明								1							1	
	皿 or 盤															0	
	皿 or 杯															0	
	盤類	折縁盤 無文														0	
		折縁盤 内面蓮弁文														0	
		折縁椀花盤														0	
		内唇系盤														0	
		盤 D2 相当														0	
盤 14c.															0		
盤 15c.															0		
小盤															0		
不明															3		
盤 or 大皿					1				2							0	
鉢																0	
D2 相当															0		
E1 相当														0			
E1 相当 大形直口														0			
八角鉢														0			
折縁深鉢														0			
菊花口縁 縁描蓮弁														0			
後花														0			
蓼寄底														0			
不明 15c.														0			
大鉢 D2 相当														0			
小鉢														0			
鉢 or 蓋														0			
杯														0			
杯	杯 B0 相当														0		
	小杯 B2 相当														0		
	小杯 不明														0		
	角杯														0		



表11 貿易陶磁集計表(6) —ジョージ・H・ケア採集資料④—

種類	器種	遺跡名 GHK表記	竹富島	竹富島	竹富島	竹富島	竹富島	竹富島	竹富島	竹富島	竹富島	竹富島	竹富島	竹富島	竹富島			
			フージャクミ	花城村跡 (ハナスク)	ンブフル	新里村	仲筋集落周辺	小城盛?	幸本御蔵?	国仲御蔵周辺?	?	?	場所不明	竹富島				
		分類	仲筋フザイノ クニ城跡	ハナスク	ウブフル神社	新里村	仲筋村歩道	波座間モノミ ダイ歩道	コモトウガン	クニナカバル 貝塚	クスク城跡	ツイムヤ	場所不明	計				
青磁	壺・瓶類	水注												0	0	0		
		瓶類													0	0	0	
		壺													0	0	0	
		短頸壺													0	0	0	
		小壺													0	0	0	
		無頸小壺													0	0	0	
		玉壺春													0	0	0	
		袋物													0	0	0	
		その他	大形香炉 or 瓶													0	0	0
			夜学型器台													0	0	0
	酒会壺														0	0	0	
	花生														0	0	0	
	花瓶														0	0	0	
	蓋													0	0	0		
	すり鉢(乳鉢)													0	0	0		
器種不明														0	0	0		
		青磁計	1	9	14	7	87	2	1	3	2	1	2	129	0	0		
白磁	碗	II類												0	0	0		
		IV類													0	0	0	
		V類													0	0	0	
		VI類													0	0	0	
		V or VI類													0	0	0	
		IX類													0	0	0	
		枢府系													0	0	0	
		浦口窯系													0	0	0	
		ピロースク0													0	0	0	
		ピロースクI													1	0	0	
		ピロースクII					1								1	0	0	
		ピロースクIII													0	0	0	
		ピロースク0~I													0	0	0	
		ピロースクI or II													0	0	0	
		ピロースクII or III													0	0	0	
		ピロースク不明													1	0	0	
		浦口窯系 or ピロースク														0	0	0
		Xタイプ														0	0	0
		Yタイプ														0	0	0
		Zタイプ大														0	0	0
	Xタイプ or 浦口窯系														0	0	0	
	不明12c														0	0	0	
	不明14c														0	0	0	
	不明15c(内面印花文)														0	0	0	
	不明														2	0	0	
	小碗	IX類系													0	0	0	
		不明													0	0	0	
	皿	II類													0	0	0	
		III類													0	0	0	
		IV類													0	0	0	
		V類													0	0	0	
		VI類													0	0	0	
		V or VI類													0	0	0	
		VI or VII類													0	0	0	
		IX類													0	0	0	
		浦口窯系													0	0	0	
		Xタイプ系													0	0	0	
		B群													0	0	0	
		B群(円盤状高台14~15c)													0	0	0	
		B群(見込み能ノ目輪割ぎ)													0	0	0	
		C1													0	0	0	
		C2													0	0	0	
		D(菊花皿)													0	0	0	
		直口皿													0	0	0	
		腰折外反皿(内面輪割ぎ)													0	0	0	
端反皿15c														0	0	0		
端反皿不明														0	0	0		
鈎皿不明(ベトナム?)													0	0	0			
小皿16c後半													0	0	0			
枢府のナレノハテ(14c.後)													0	0	0			
不明													0	0	0			
その他	面取杯													0	0	0		
	小杯													0	0	0		
	小杯B群													0	0	0		
	小杯16c.前													0	0	0		
	四耳壺													0	0	0		
	壺													0	0	0		
	壺14~15c.													0	0	0		
	小壺口髹14~15c.													0	0	0		
	小壺15c.													0	0	0		
	玉壺春													0	0	0		
	水注													0	0	0		
	袋物													0	0	0		
	器種不明													0	0	0		
			白磁計	3	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	
	青白磁	青白磁計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
染付	碗	B													1	0	0	
		C													1	0	0	
		D													0	0	0	
		E													0	0	0	
		B2.16c.末													0	0	0	
		CorE													0	0	0	
		漳州窯系													0	0	0	
		不明													0	0	0	
		皿	B1													0	0	0
			B2													0	0	0
	C														0	0	0	
	E														0	0	0	
	漳州窯系														0	0	0	
	その他	不明													0	0	0	
		腰折筒型小鉢(16c.中)													0	0	0	
鉢														0	0	0		
小杯														0	0	0		
玉壺春														0	0	0		
瓶													0	0	0			
器種不明													0	0	0			
		染付計	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0		
		総計(陶器除く)	4	11	14	9	87	2	1	3	2	1	2	136	0	0		
陶器 参考	大目茶碗													0	0	0		
	褐輪壺													0	0	0		
	褐輪四耳壺													0	0	0		
	黄輪壺													0	0	0		
	ヒスイ輪壺													0	0	0		
	壺													0	0	0		
酒会壺													0	0	0			
不明													0	0	0			
		発掘調査面積(㎡)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		







表13 貿易陶磁集計表(8) —その他②—

ぐすく分布調査報告書(Ⅲ)八重山諸島掲載分

(掲載外)

種類	器種	遺跡名	石垣島	石垣島	波照間島	波照間島	波照間島	西表島	黒島	竹富島	竹富島	小浜島	鳩間島	鳩間島	西表島	
			ウイズ	吉野	伝マシユク 村跡	伝ミシユク 村跡	保多盛 御縁周辺	船浦	仲本村跡	幸本御獄	花城村跡	小浜旧部落	ナーマヤ ヤシキ	中森貝塚	与那良	
青磁	壺・瓶類	水注														
		瓶類														
		壺														
		短頸壺														
		小壺														
		無頸小壺														
		玉壺春														
		袋物														1
		大形香炉 or 瓶														
		夜学型器台														
		酒会壺														
		花生														
		花瓶														1
		蓋														
すり鉢(乳鉢)																
器種不明																
青磁計			1	3	10	2	0	4	2	1	1	2	4	4	530	
白磁	碗	Ⅱ類														
		Ⅲ類														
		Ⅳ類														
		Ⅴ類														
		Ⅵ or Ⅶ類														
		Ⅷ類														
		Ⅷ府系														
		浦口窯系	2			1						1				3
		ピロースク0														
		ピロースク1														
		ピロースクⅡ														
		ピロースクⅢ														
		ピロースク0~1	1			1										5
		ピロースクⅠ or Ⅱ														
		ピロースクⅡ or Ⅲ														
		ピロースク不明														
		浦口窯系 or ピロースク														
		Xタイプ														
		Yタイプ														
		Yタイプ大														
		Xタイプ or 浦口窯系														
		不明12c														
		不明14c														
		不明15c(内面印花文)														
		不明														
		Ⅷ類系														
		Ⅷ類														
		Ⅷ類														
		Ⅷ類														
		Ⅷ類														
		Ⅷ or Ⅷ類														
		Ⅷ or Ⅷ類														
		Ⅷ類														
		浦口窯系														
		Xタイプ系														
		B群					1									
		B群(円盤状高台14~15c)														
		B群(見込み絞ノ目軸測ぎ)														
		C1														
		C2														
		D(菊花皿)														
		直口皿														
腰折外反皿(内面軸測ぎ)																
腰反皿15c																
腰反皿不明																
鈔皿不明(ベトナム?)																
小皿16c後半																
板府のナレノハテ(14c後)																
不明																
面取杯																
小杯																
小杯B群																
小杯16c前																
四耳壺																
壺																
壺14~15c																
小壺口系14~15c																
小壺15c																
玉壺春																
水注																
袋物																
器種不明																
白磁計			3	0	2	1	1	0	0	1	3	0	0	1	13	
青白磁	青白磁計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
染付	碗	B														
		C														
		D														
		E														
		B2 16c 末														
		CorE														
		濠洲窯系														
		不明														
		Ⅷ1														
		Ⅷ2														
		C														
		E														
		濠洲窯系														
		不明														
その他	腰折筒型小鉢(16c.中)															
鉢																
小杯																
玉壺春																
瓶																
器種不明																
染付計			0	0	0	1	0	0	2	0	1	0	0	1	0	
総計(陶器除く)			4	3	12	4	1	4	4	2	5	3	4	6	543	
陶器 一参考	天目茶碗															
	褐釉壺															
	褐釉四耳壺				3											
	黄釉壺															
	ヒスイ釉壺															
	壺															
酒会壺 蓋																
不明																
発掘調査面積 (㎡)			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		



表14 貿易陶磁時期別一覧表(1)

島	遺跡名	(GHK表記)	種類	I期	II期	III期	IVa期	IVb期	V期	VI期	計	12~13c.	13~14c.	14c.	14~15c.	15c.	15~16c.	その他・不明	総計													
喜界島	大ウフ		青磁		2		54	121	21	17		215	1		5	5		239	470													
			白磁	88	88	27	29	13	67	16	137	23	1	20		0	145	364	36	37		0	5	4	9	3	3	2	123	363	308	783
			染付										4									1	5									
喜界島	中増		青磁		2		5	29	54	6		96			2	6	2			61	167											
			白磁	0	2	4	5	10	9	38		54		6		0	16	112	1	1		0	1	3	2	8	2	0	3	64	23	190
			染付										0										0									
宮古島	住屋		青磁		17		69	290	1,736	2,055	3	4,170				278	266	4	3,622	8340												
			白磁	2	2	17	283	352	46	336	20	1,821	137	2,572	1	187	489	5,287		4	806	4,681	1,323	10,544								
			染付								65	380	183								253	881										
宮古島	ミスズマ		青磁		7		3	532	1	2		545			128				32	705												
			白磁	29	29	3	10	412	415	2	556		1	2	2	0	468	1,013	1	1	27	27	0	0	0	114	146	610	1,315			
			染付										0									0										
石垣島	フルスト原遺跡 1号石塁		青磁			4	185	208	312		709			1	22	29	373	81	1,215													
			白磁	0	0	164	168	18	203	15	223		197	906		0	4	5	22	4	33	374	66	147	271	1,487						
			染付									0	0								1	0										
石垣島	フルスト原遺跡 2号石塁		青磁			10	83	109	222		424				9	49	83	221	786													
			白磁	0	0	60	70	1	84	5	114		66	490		0	11	20	49	83	11	232	88	874								
			染付									0	0								0	0										
石垣島	フルスト原遺跡 3号石塁		青磁			2	291	146	227		666				29	22	408	81	1,206													
			白磁	0	0	73	75	23	314	153	228	1	96	771		0	29	22	22	408	50	132	146	1,362								
			染付									1	9							1	10											
石垣島	フルスト原遺跡 4号石塁		青磁		1	3	338	192	298		832		1		24	5	7	892	1,761													
			白磁	0	1	98	101	21	359	25	217		144	977		1	0	57	81	5	7	18	911	219	1,982							
			染付									1	1							1	2											
石垣島	フルスト原遺跡 5号石塁		青磁		2	4	226	32	9		273				88		4	194	559													
			白磁	0	2	70	74	22	248	3	35		95	368	2	2	0	88	0	4	98	292	195	754								
			染付									0	0								0	0										
石垣島	フルスト原遺跡 10号石塁		青磁		5	11	376	153	159		704			1		2	2	617	1,326													
			白磁	0	5	103	114	59	435		153	160	0	162	867		0	0	1	93	93	2	2	32	650	287	1,615					
			染付										1							1	2											
石垣島	フルスト原遺跡 15号石塁		青磁			1	168	91	258		518				4	24	31	25	602													
			白磁	0	0	75	76	20	188	7	98		102	622		0	0	4	24	31	11	36	113	717								
			染付									1	2									2	2									
石垣島	フルスト原遺跡 石塁不明(報告分)		青磁			2		3	1		6						1		7													
			白磁	0	0	4	6		0	3	1	0	4	10		0	0	0	1	0	4	11										
			染付									0	0								0	0										
石垣島	フルスト原遺跡 1984年報告書掲載分		青磁			31	18	37		86					2	4	2	94														
			白磁	0	0	31	18	37	0	0	0	86		0	0	0	2	4	2	94												
			染付									0							4	2	0	94										
石垣島	フルスト原遺跡 計		青磁	0	8	68	1,685	971	1,486	0	4,218	1	0	2	176	133	913	2,113	7,556													
			白磁	0	0	8	647	715	164	1,849	55	10,330	866	5,097	2	3	0	4	6	161	337	4	137	0	914	286	2,402	13,231				
			染付	0	0	0	0	0	7	3	3	3	13	0	0	0	0	0	1	3	17	8,896										
竹富島	新里村遺跡 1号屋敷		青磁			1	65	15		81					64			8	153													
			白磁	0	0	44	45	14	79	1	16		59	140		0	0	0	4	12	63	216										
			染付									0								0	0											
竹富島	新里村遺跡 1or2号屋敷		青磁							0	0				1				1													
			白磁	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1										
			染付									0									0	0										
竹富島	新里村遺跡 2号屋敷		青磁				107	20		127					90	2	1	5	225													
			白磁	5	5	0	63	63	25	132	2	22	0	0	0	90	2	1	3	8	98	323										
			染付									0									0	0										
竹富島	新里村遺跡 3号屋敷		青磁				90	24		114					37				151													
			白磁	2	2	0	15	15	5	95	1	25	0	0	23	137		0	2	2	0	5	42	0	0	30	181					
			染付									0								0	0											
竹富島	新里村遺跡 4号屋敷		青磁				25	8		33					11				44													
			白磁	0	0	3	3	2	27	1	9	0	6	39		0	2	2	0	3	14	0	0	2	2	13	57					
			染付									0									0	0										
竹富島	新里村遺跡 西・遺構外		青磁			1				1									1													
			白磁	0	0	1	1		1		0	0	1	2		0	2	2	0	0	0	0	3	4								
			染付									0									0	0										
竹富島	新里村遺跡 西計		青磁	0	0	1	288	67	0	356		0	0	0	203	2	1	13	575													
			白磁	7	7	0	126	127	46	334	5	72	0	0	0	8	211	0	2	0	1	9	22	207	782							
			染付	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
竹富島	新里村遺跡 東・遺構外		青磁			1	20		1		22				13	2		2	39													
			白磁	5	5	1	15	16	1	21	0	1	0	22	44		0	6	6	0	13	2	28	67								
			染付									0									0	0										
竹富島	新里村遺跡 東・間・遺構外		青磁			4	57	6	1		68				41			1	110													
			白磁	0	0	29	33	10	67		6	1	0	39	107		0	9	9	0	41	0	1	2	49	159						
			染付									0									0	0										
竹富島	新里村 東計		青磁	0	0	5	77	6	2	90		0	0	0	54	2	0	3	149													
			白磁	5	5	1	44	49	11	88	0	6	0	2	0	0	54	0	2	0	1	4	77	226								
			染付	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
竹富島	新里村遺跡 不明遺構外		青磁				5			5					7				12													
			白磁	1	1	0	3	3		5		0	4	9		0	0	0	0	0	4	16										
			染付									0								0	0											
竹富島	新里村遺跡 計		青磁	0	0	6	370	73	2	451		0	0	0	264	4	1	16	736													
			白磁	13	13	1	173	179	57	427	5	78	0	2	0	249	700	0	21	21	0	8	272	0	4	0	1	10	26	288	1,024	
			染付	0</																												



表16 貿易陶磁時期別一覧表(3)

ジョージ・H・ケア 採集資料

島	遺跡名	(GHK表記)	種類	I期	II期	III期	IV a期	IV b期	V期	VI期	計	12~13c.	13~14c.	14c.	14~15c.	15c.	15~16c.	その他・不明	総計		
小浜島	南風原遺跡	ハエバナ	青磁				3	2	2	0	3	5			10			2	17		
			白磁									0							3	3	
			染付	0	0	0						0								0	0
新城島	?	武家(ブシノヤ)	青磁					1	1	0	0	1							1	2	
			白磁										0							1	0
			染付	0	0	0						0								0	0
新城島	?	ウガン	青磁						1		1								1	1	
			白磁										0							0	0
			染付	0	0	0						0								0	0
新城島	?	屋敷(ヤシキ)	青磁				1	1	1		2				2				1	5	
			白磁										2			2				1	0
			染付	0	0	0						0								0	0
新城島	新城島計		青磁	0	0	0	1	1	2	0	4	0	0	0	2	0	0	0	2	8	
			白磁	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	2
			染付	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳩間島	?	燈台西	青磁						1		1								1	1	
			白磁									0							0	0	
			染付	0	0	0						0							0	0	
鳩間島	?	桃盛(トモリ)ウタキ	青磁						1		1								1	1	
			白磁									0							0	0	
			染付	0	0	0						0							0	0	
鳩間島	鳩間島計		青磁	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
			白磁	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	
			染付	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
与那国島	サンバル村跡	サムバル(島仲廃村)	青磁				1	3	1	1	0	4							3	7	
			白磁						3	1	0	1	5						0	0	
			染付	0	0	0						0							0	0	
与那国島	トゥッグル周辺?	タンガ	青磁				4	7	8	8	0	19							12	32	
			白磁				1	5	7	8	0	1	20						1	1	
			染付	0	0	0						0							0	0	
与那国島	与那原遺跡	ドウナンバル	青磁					1			1								1	1	
			白磁	0	1	1			0	1	0	0	2						0	0	
			染付	0	0	0						0								0	0
与那国島	?	ンーダ	青磁				11		3		14								7	21	
			白磁						0	3	1	0	15						0	0	
			染付	0	0	0					1		1						1	1	
与那国島	島仲村跡	ウヤバル廃村	青磁					1	1		2								2	2	
			白磁									0							0	0	
			染付	0	0	0						0							0	0	
与那国島	与那国島計		青磁	0	0	0	16	12	12	0	40	0	0	0	0	0	0	1	22	63	
			白磁	0	1	0	0	1	0	12	1	13	0	1	3	4	0	0	1	23	
			染付	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
	GHK資料計		青磁	0	0	5	326	421	467	2	1221	102	0	3	172	18	128	730	851	2577	
			白磁	0	1	50	42	8	436	2	103	14	0	3	0	18	0	113	8		
			染付	0	0	0	56	368	7	436	17	78	0	0	0	0	0	0	0	86	

くすぐ分布調査報告書(Ⅲ)八重山諸島掲載分

石垣島	ウイズ	青磁				1					1								1
		白磁			2	2	1	2	0	0	3	4							0
		染付	0	0							0								0
石垣島	吉野	青磁				1	2	2	0	0	3	3							3
		白磁									0								0
		染付	0	0	0						0								0
波照間島	伝マシユク村跡	青磁				4	2	3	4	4	10	12							10
		白磁				1	5	1	3	4	2	0							2
		染付	0	0	0						0								0
波照間島	伝マシユク村跡	青磁				1	1	0	0	1	3	0							2
		白磁									1								1
		染付	0	0	1	1	0	0	2	0	1	3	0	0	0	0	1	0	1
波照間島	保多盛御殿周辺	青磁				1	1	0	0	0	0	1							0
		白磁									0								1
		染付	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
西表島	船浦	青磁				4	4	0	0	0	4	4							4
		白磁									0								0
		染付	0	0	0						0								0
黒島	仲本村跡	青磁				1	1	1		2	0	4							2
		白磁									2								2
		染付	0	0	0						0								0
竹富島	幸本御殿	青磁				1	2	0	0	1	2	0							1
		白磁									0								0
		染付	0	0	0						0								0
竹富島	花城村跡	青磁				2	2	0	1	1	2	0	3	5	0	0	0	0	3
		白磁									1								1
		染付	0	0	2	2	0	1	1	2	0	3	5	0	0	0	0	0	0
小浜島	小浜旧部落	青磁				1	1	0	1	0	2	0				1			2
		白磁									1								1
		染付	0	0	0						0								0
鳩間島	ナーマヤーヤシキ	青磁				1	1	1	1	1	3	3			1				4
		白磁									0								0
		染付	0	0	0						0								0
鳩間島	中森貝塚	青磁				1	1	1	2	3	3	5							4
		白磁									1								1
		染付	0	0	0						0								0
(掲載外)西表島	与那良	青磁			5	83	80	68			236	244			15	243	36	530	
		白磁			3	8	88	80	68		8	244			0	15	243	36	
		染付	0	0	0						0				0	0	0	0	

生産遺跡分布調査報告

西表島	古見スラ跡	青磁			3	5	8	10		23	30				4			1
		白磁							14	3								1
		染付	0	0						4								2

歴博所蔵

黒島	仲本Ⅰ	青磁				2	3	2		7	8							1
		白磁								1								1
		染付	0	0	0						0							0
黒島	仲本Ⅱ	青磁				2	2	2	4	5	0	9						1
		白磁									0							1
		染付	0	0	0						0							0
黒島	仲本Ⅲ																	